北海道ふるさと会連合会会報

2018年

No.36

発行者　北海道ふるさと会連合会
編　集　広　報　部　会
発行日　平成30年10月17日

事務局 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17（北海道東京事務所内） TEL・FAX 03-3592-0122

E-mail：hokkaido-furusatokai@bz04.plala.or.jp

荘厳な雰囲気と壮大な眺めのトラピスト修道院　（写真提供：北斗市　市役所）

灯台の聖母 トラピスト大修道院

北海道新幹線の終着駅　新函館北斗駅から車で約30分　道南いさりび鉄道の渡島当別駅から車で5分程の並木道を上がり小高い丘の上に静かに佇む修道院はとても神聖的　そこには賑やかな観光地のイメージは一切ありません。

広大な敷地内から見る季節ごとの景色が大変美しく晴れた日には並木道の遠く眼下　津軽海峡が広がるパノラマビューを楽しむことが出来ます。

レンガ造りのトラピスト修道院はカトリックの修道会のひとつ「厳律シトー会」の修道院で日本で最初のカトリック男子修道院として創設され現在でも女性の立ち入りが禁じられています。

その歴史は古く明治29（1896）年に信徒により当別の原野が寄進されたことに由来します。同年11月に修道院として開院し昭和10（1935）年には大修道院に昇格した。付近に葛登志灯台があることから「灯台の聖母　トラピスト大修道院」と言うのが正式な名称です。

トラピスト修道院は道内屈指のスイーツスポットとして有名です。併設するトラピスト修道院製酪工場で修道士たちが作る発酵バターは今も当時のままのレシピを守っており食品添加物不使用でまろやかな味わいにファンも多いと言う。

トラピストクッキーはこの発酵バターとバターミルクをたっぷり使ったクッキーです。口に広がるバターの味わいとサクッとした食感が特徴です。

今年4月サッポロビールがトラピスト修道院の遊休牧草地を借りて大規模なワイナリーを展開すると発表しました。畑となる土地はもともと修道士たちが開拓した大地の一部で、2019年に第一期の苗の植え付けを開始し2021年には最初の収穫を迎える予定だと言う。

近い将来修道院発の「日本ワイン」を楽しめるのも夢ではないでしょう。

目次

「その先の道へ進む」
北海道ふるさと会連合会　会長　高橋照美……4
知事メッセージ……北海道知事　高橋はるみ……4
平成30年新年交礼会「創立40周年記念講演会」の開催……5
西伊豆道中記……6
第41回総会・懇親会の開催……7
事業部会　ゴルフ同好会からの報告……7
日本ハム戦・野球観戦記……8
事業部会　郷土愛の都市対抗野球……8
北海道ふるさと会連合会の企業会員ご紹介と
「意見交換・懇親会開催について」……9
北海道命名150年の各地事業について。……10
東京稚内会……11
東京滝川会……11
東京幌加内会……12
東京ふるさと新得会……12
東京沼田会……12
東京登別げんきかい……14
ふるさと置戸会……14
東京幕別会……14
第24回 あの町・この村・この味覚 北海道・産直フェア……15～17
名刺広告のご案内……18～19
東京天塩会……20
北海道福島会……20
東京とまこまい会……21
ひがしかわ東京会……21
東京くっちゃん会……21
東京新冠会……22
東京本別会……22
東京遠別会……22
東京北斗会……24
東京札幌会……24
東京中標津会……24
美深会……26
東京常呂会……26
東京旭川会……28
東京美幌会……28
東京秩父別会……29

東京・別海ふるさと会……29
東京余市会……30
東京広尾会……30
事務局からのお知らせ……32
編集後記……32

台風21号と平成30年北海道胆振東部地震での災害に対し、心よりお見舞い申し上げます。

私たち北海道を「ふるさと」とする、ふるさと会の集まり北海道ふるさと会連合会は、今回の災害に対し大変心配いたしました。今の時代に２日間も電気が止まっていた地区も有り、想像を超えた災難があったと聞いております。どうぞ道産子魂を発揮され、早い復興を祈念します。連合会として10月５～８日に開催された「北海道フェアin代々木」産直フェアで募金活動を行い、来場された沢山の方々から「北海道頑張れ」と大きなご協力を頂きました、同時に各ふるさと会にも呼びかけ、集まりました義援金を北海道新聞社を通じ送らせて頂きました。会員の皆様にも報告いたします。

協賛広告のご紹介（26社）

北海道新聞社……3
北海道銀行……3
第一イン池袋……5
北海道日本ハムファイターズ……8
雪印メグミルク……9
レストランユック……10
安井法律事務所……11
池田税理士事務所……11
十勝ワイン……11
サーリット……12
北海道どさんこプラザ……12
大和ハウス工業……13
北海道電力……19
北洋銀行……20
八千代商会……20
ササキ工芸……22
北海道フーディスト……22
松尾ジンギスカン……23
珈琲豆庵 小豆 自由が丘 その他連合……25
摩周桜の森……27
アルカディア市ヶ谷……28
双文社……29
霞ヶ関東海倶楽部……30
すずらん……30
日本郵便㈱北海道支社……31
サッポロビール……32

北海道銀行
ホームページ http://www.hokkaidobank.co.jp/

「その先の道へ進む」

北海道ふるさと会連合会
会長 高橋照美

会員の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年北海道ふるさと会連合会は創立40周年を迎え、総務部会主催の新年交礼会に併せて40周年記念の講演会を開催しました。今年は、北海道と命名されて１５０年の記念すべき年でもあり、高橋はるみ北海道知事をお迎えして、１５０年記念の事業のこと、これからの北海道の展望などについてお話をいただきました。

事業部会が主催する旅行会では、今年は3月に西伊豆土肥温泉への一泊旅行に36名が参加して懇親を深めました。恒例となったゴルフ会は、3月と9月に青梅ゴルフ倶楽部で開催しました。企業会員の方も参加され楽しい懇親の場となっています。

日本ハムファイターズ野球観戦会では、5月の対西武戦は98名が参加して快勝、8月の対ソフトバンク戦は惜敗でしたが、みんな精一杯応援をしました。

産直部会主催の「産直フェア」は10月5日から4日間の開催で、新規参加の東京美深会を含めて24団体が出店しました。9月に発生した北海道地震で大きな被害を受けた市・町もありましたが、各ふるさと会とも困難を乗り越えて懸命にふるさとのＰＲや物産の紹介を行いました。

今年も事務局が窓口となって、協賛企業・団体を支援する活動を行ないました。7月の都市対抗野球ではＪＲ西日本と対戦したＪＲ北海道公式野球クラブを応援しました。また㈱マツオが主催する「花見ジンギスカン」「月見ジンギスカン」は、今年、同社が当会の会員になったことから「北海道ふるさと会交流会」という名のもとに開催することになり、支援参加いたします。

広報部会が発行するこの会報とは別に、5月に40周年記念誌が発行されました。

その中で、当会は記念すべき１００の団体となったことを報告いたしましたが、その後2つのふるさと会の退会があったものの新規に東京木古内会、㈱マツオ、北の企画室、日本郵便㈱の加入があって、１０２団体となっています。

昨年の会報第35号において「その先の道へ」と題してご挨拶申し上げましたが、当連合会はその道に向かって歩んで参ります。皆様には、当連合会の活動に更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

知事メッセージ

北海道知事 高橋 はるみ

北海道ふるさと会連合会が創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。北海道ふるさと会連合会の皆様におかれましては、日頃から道政の推進に格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げますと共に、各ふるさと会相互の交流と親睦を始め、毎年10月に代々木公園で開催される「北海道産直フェア」において、北海道の特産品を道外の多くの方々に伝えて頂くなど、長年にわたり、本道の魅力発信へのご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

さて本年は１８６９（明治2）年にこの地が北海道と命名されてから、１５０年目という大きな節目の年です。本道では、縄文文化やアイヌ文化などの独自の歴史や文化が育まれ、中でも、アイヌの人たちの自然への畏敬の念や共生の思想などは今日まで受け継がれています。又、明治期以降、全国各地から移住された方々の大変なご努力と、外国の先進的な技術の導入などにより、個性豊かで魅力ある大地として発展してきました。

こうした歴史や文化、自然をはじめとする本道の誇るべき価値を改めて認識すると共に、先人の努力に感謝し、未来を展望する機会となるよう、去る8月5日、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、札幌市において「北海道百五十年記念式典」を開催しました。式典では、青少年の誓いやアイヌ文化・地域の伝承芸能の紹介、本道ゆかりのアーティストによるスペシャルライブなどを開催し、お集りの皆様と共に盛大にこの節目の年を祝うことが出来ました。

道では、先人から受け継いだ豊かな本道を、次の世代に引き継いでいけるよう、世界を見捉えた活力ある地域づくりや、未来の北海道を担う人づくりに一層取り組んでまいりますので、皆様におかれましては、今後とも、ふるさと北海道の発展にお力添えを賜りますよう、お願い致します。

結びに、北海道ふるさと会連合会のますますのご発展、並びに皆様のご健勝とご活躍を祈念し、私からのメッセージといたします。

平成30年新年交礼会
「創立40周年記念講演会」の開催

総務部会　髙林幹雄

北海道ふるさと会連合会は今年40周年を迎えました。

恒例の平成30年新年交礼会に合せて、創立40周年記念講演会を1月20日㈯アルカディア市ヶ谷に於いて開催されました。当日は、第1部記念講演会、第2部記念式典・交礼会のプログラム、受付は午前10時30分から行い、出席者は講演会に180名、交礼会には212名が参加、第1部は5階「大雪の間」で午前11時、副会長五十嵐広報部長の司会で始まり、高橋会長の挨拶の後高橋はるみ北海道知事の講演が入った。

演題は「北海道150年とその先の未来」で「北海道」の名付け親、松浦武四郎について話された。三重県松阪の出身で当時松前藩が治めていた蝦夷地に調査探検に入り、アイヌの人たちの協力を得、6回の調査後地図や書物をまとめる。明治2年明治政府の役人になり蝦夷地の名前をアイヌ人の言葉で「この地に生まれたもの」＝「加伊」から「北加伊道」を考えた。その後漢字は「海」に変わり今の「北海道」になった。晩年は東京神田の自宅で死去（72歳）された。昨年三重県の武四郎記念館を見学して尊敬の念をもった。北海道は1990年代拓銀の破綻による経済の低迷、2000年北海道開発庁が国土交通省の一部局になったり、道民の元気が無くなっていました。2003年知事に就任して、道民の不信を取り除くのが私の使命と思い前に前に進める活動をして来ました。これからは2つのキーワードで進めて行きたい、1つは多様性の意識の高揚と民族の共生＝アイヌ人と和人との共生、アイヌ人の協力があって現在があることを、感謝を込めて活動する。道民の意識の向上のためイベントを催し、働きかけをして行く。2つ目は世界の中の北海道＝北海道には農業・水産・観光すばらしい資源がある、海外からの観光客は全国の10％、観光に力を入れたい。また住みよい環境を作り、障害者に対する優しい社会環境で札幌市と連携しオリンピック・パラリンピックを誘致したい。有楽町の道産子プラザが海外の香港・シンガポール・タイに進出し人気を得ている。このように北海道独自の資源を活かして、前へ前へ自信を持って進めて行くオール北海道を励まして貰きたいと、最後は力強い言葉で締められました。

第2部の式典・交礼会は3階「富士の間」に移動し、宮永明子様（札幌会）の司会で始められた、オープニングに箏・尺八による祝いの演奏、副会長高橋総務部長から開会の言葉、高橋会長が式辞を述べられた。来賓のご挨拶を北海道東京事務所長近藤晃司様と北海道倶楽部理事長岡村進様から頂き、功労者への感謝状が創立30年からの歴代会長北山英博様（16代）・小山昌志様（17・18代）・伊野達哉様（21・22代）・森隆信様（23代）に高橋会長から授与された。乾杯の音頭は小山昌志様の発声で行われ祝宴に入った。

宴会の中で企業会員・協力企業のご紹介、歴代会長からの一言などを頂きました。今年は恒例お楽しみ抽選会はありませんでしたが参加者の皆さんが楽しそうに談笑が続いて懇親を深めておりました。閉会の挨拶は副会長新家産直部長の三本締めでお開きとなり、お土産に鮭1本を持ち散会した。

琴・尺八の演奏をお楽しみ下さい

今年で北海道命名150年です

第一イン池袋
感謝の気持ちを胸に、また一歩
36th ANNIVERSARY

アットホームな雰囲気と
落ち着いた空間で、
安らぎのひとときを…

〈ご予約・お問い合わせ〉 TEL 03-3986-1221
〒170-0013　東京都豊島区東池袋 1-42-8
https://www.hankyu-hotel.com/hotel/dh/ikebukuro/
E-mail：rsv@dh-ikebukuro.com

西伊豆道中記

事業部会
小野信義

旅行日程・平成30年3月4日(日)～5日(月)
行　先・静岡県西伊豆土肥温泉「旅館おおや」
参加人員・36名（男25名・女11名）

参加者全員の写真

恒例の親睦旅行は西伊豆土肥温泉となり、朝10時40分に東京駅八重洲口南口のヤンマー東京ビル前に集合した。三々五々差し入れ持参で集まる人々、大事な荷物は旅館差し回しのバスの床下スペースに収納。目印の会旗を振る私の前に高級車のＢＭＷが横付けされ箱詰めの缶ビールやらポケットライトを差し入れする。後で聞くと彼は岩内会の只野さんで、何故かバスには同乗せずそのままＢＭＷで旅館に先乗りしていた。

東名高速道路に入るやすかさず飲み物が配られ車内宴会が始まった。バスが箱根に近づく頃から車窓に富士山の雄大な姿が見えるたびにウオーッという歓声が上がる。足柄サービスエリアでランチとトイレタイムの他はどこにも寄らず伊豆中央道路を南下した。途中の道路案内標識に修善寺の文字が目についた。この町は今、平成11年の大合併で、土肥町などと共に「伊豆市」となり、一方韮山町などは「伊豆の国市」となっている。何かかえって紛らわしい。

早めに到着してバスを停めた場所から少し歩いて宿に向かう途中、安楽寺山門前に樟（クスノキ、楠ではない）の巨樹が目についた。樹齢千年余りという。人間の些細な煩いなど問題にしない圧倒的な存在感で、神々しいパワーを発散していた。防虫剤「タンスにゴン」の樟脳はこの木から抽出する。元々は南方系の樹木だから北海道・東北では自生しない。

宿に入る前に玄関で連合会の横断幕を広げて、善男善女がハイポーズ。皆旅慣れていて手際が良い。玄関に入って直ぐに宿の主人から入浴時の注意や朝市の事などお知らせがあった。私共事業部会員は、幹事部屋なので、西島部会長の指示で、てきぱきと宴会や２次会の準備にかかる。その合間に入浴も済ませるなど分刻みの行動である。

床の間には各ふるさと会から差し入れされた銘酒類がずらりと並んでちょっとした居酒屋の風情だ。６時の宴会直前、西島部会長から突然私に「君が宴会の進行担当だから」との指示あり。酔いも覚め緊張が走った。まあ新人の役目だからさもありなん。

さて宴会は高橋照美会長の挨拶。森前会長の乾杯の音頭で開始され、30分もたたないのに早くもカラオケが始まった。それ始まったと食事もそこそこに、おっとり刀で仲居さんと相談し、手早くメモ紙を各自に渡して曲名・所属会名・氏名を書いてもらい、それを畳に並べて曲筋や男女別など偏りなく構成して、順に仲居さんに入力させ、私がナレーションして気持ちよく歌って頂いた。余りにも参加人数が多く、時間の都合上２番までで勘弁していただいた。途中に仲居さん５人のアトラクション「島のブルース」の踊りが入った。懐かしい三沢あけみとマヒナスターズの名曲で御姐さん達も良く稽古されて見事。最後に新家副会長の独壇場「刀傷松の廊下」が入り、見事な切腹シーンもあって、宴は最高潮に達し、中締めの挨拶は事業部会の三井さんが締めた。

２次会は幹事部屋で布団を端にどけ、座卓３～４個を並べ、銘酒類を開けてエンドレスに突入。暫くして女性陣も加わり飲みかつ語り、笑いさんざめきの声は、未明まで続いたらしい。私は途中で沈没したらしく、朝市のアナウンスで目覚めたのは７時頃か。隣になぜか別部屋のはずの杉本長老が寝ていて不思議。寝不足で頭もクラクラ、取り合えず鯵の開きと山葵漬けを買って安心する。同部屋の下田さんから「俺は３時頃まで後片付けして、用心して腰湯につかってから寝た。君は物凄い鼾だったね」と言われ、恐縮汗顔の至り、今後の対策としては、体力・気力の限界もあり、長丁場をこなすペース配分を考えて対処したい。

さて、朝食を済ませ２日目の日程は、駿河湾を船で渡り対岸の清水港へ、このフェリー航路は富士山の世界文化遺産登録に合わせて県道２２３号線になった。富士山と２２３の語呂合わせ海上の県道とは何とも粋なもんだね。１時間５分で清水港に入港。折あしく小雨に煙る天気だが左舷に墨絵のような三保の松原が霞んでいる。デッキに出てみると、何やら歌声が「清水～港の名物は～」。それは別海シスターズの５人組で、話を聞くと「私達は新家さんの人柄にほだされて毎回参加するのよ」との事。新家副会長のカリスマ性や恐るべし。

正規の日程では、これから「三保の松原」に行く筈だが、雨天変更して昼食場所の「エスパルス・ドリームプラザ」に行く。この松原は、北海道の大沼、大分県の耶馬渓と共に「日本新三景」である。ここは観覧車もある複合商業施設で、サッカー清水エスパルスの運営母体である、大企業「鈴与」が運営している。

興味が湧いたので調べてみると、鈴与の創業者は廻船問屋「播磨屋・鈴木与平」で徳川家康が大阪夏の陣に貢献した廻船問屋42軒に特許を与えた。その１つ港屋平右衛門から享和元年（１８０１）に問屋株を譲り受け創業したもの。代々「与平」を名乗り、４代目の時に明治の文明開化で、鉄道の開通に乗じて塩・茶・石炭を扱い発展した。現在の８代目は総合物流事業として資本金10億円、年商約４０００億円という大企業である。

このプラザでは、時間があったので各自グループで飲む、お土産を買う、食べるなどゆっくりして、帰路のバスに乗り込むや又も車内宴会に突入。事業部会の下田さん、大井さんらがせっせと飲み物や乾き物を配り、直ぐにカラオケが始まった。私は夕べの奮闘と多分花粉症もあり（何せ伊豆は杉林だらけ）ハスキーボイスが酷く声が出ないので、殆ど反省して項垂れていた。

バスが都内に入った頃、伊達会の高橋郁夫会長が持参のハーモニカで「ふるさと」を演奏し、皆で唱和して締めた。丸の内口にバスを着け解散時はもう酒瓶は空っぽ。あ～しんどかった。いや道産子弁では「こわい、疲労い」かな。又楽しみましょう。そだねーッ。

第41回総会・懇親会の開催

平成30年5月2日㈯　於：喜山会館

総務部会　金曽裕一

私たちがふるさと会の美魔女代表です。宜しく‼

高橋守副会長の開会宣言と司会により総会開始。総会開始に先立ち、逝去された作田英二理事、田中松美理事に対し、総会出席者全員が黙祷。続いて高橋照美会長の挨拶があり議事進行となった。

奥山副会長による定足数確認の報告に続いて議長選出となり東京深川会の杉村相談役が選出された。杉村議長の挨拶と議事進行内容説明があった。

第1号議案から第3号議案まで、一括審議となり高橋守総務部会長、西島事業部会長、五十嵐広報部会長、新家産直部会長、奥山事務局長から平成29年度の事業報告があった。続いて奥山事務局長から平成29年度収支決算報告、池田俊二監事より監査報告を受けた。池田監事からは40周年記念事業への会の積極的な役割と決算内容について適正で立派な内容であったとの評価を頂いた。一括して第1号議案から第3号議案まで全会一致で承認された。

引き続き第4号議案平成30年度事業計画案が各部会長から提案され、第5号議案では平成30年度収支予算案を奥山事務局長が説明。第4・5号議案とも承認された。

第6号議案理事補充について、高橋会長から東京羅臼会田村五郎顧問と北海道森町ふる里の会岩村昌治幹事長の推薦があり、全会一致で両理事の就任が承認された。

その他の事案で高橋会長より、北海道ふるさと会連合会の活動の一環として、会の現状のホームページの充実を更に図るための委員会の設置とその概要について提案があり承認されました。

最後に杉村議長の御挨拶について、西島副会長が出席者皆様の審議協力に対し感謝を申し上げ第41回総会は滞りなく閉会となった。

続いて別室にて12時15分より、総務部会佐藤幸博理事による司会でご来賓各位、企業会員の代表、協力企業の皆様と共に懇親会が盛況の中で開催された。

事業部会　ゴルフ同好会からの報告

第6回 平成30年3月20日㈫ 青梅ゴルフ倶楽部にて

第6回北海道ふるさと会連合会の親睦ゴルフコンペは表記の日程にて、24名の参加の下実施されました。年度は29年度の事業で2回目のコンペになります。前年度は日高・大厚木とコースを変えましたが、交通便、費用等を見直し青梅ゴルフ倶楽部となりました。

優勝は西谷内 力世さん（旭川会）52・50のスコア、ダブルペリアのハンディーに恵まれました、2位は西村 國之さん（あしょろ会）48・46、3位は米田 文雄さん（札幌会）50・48のスコアで、狙っても取れないブービーは藤谷 敏雄さん（道南会）でした。

第7回 平成30年度 秋のコンペ 9月11日㈫ 青梅ゴルフ倶楽部にて

第7回の親睦ゴルフコンペは表記の日程にて22名の参加で実施されました。当初は24名の参加でしたが胆振東部地震の関係もあり、関係者が参加出来ずとなりました、当日の青梅ゴルフ倶楽部は前日の雨にもかかわらず、大変良いコンディションで気温も24度前後素敵な一日でした。優勝は道南会の安田 康次さん、45・45の立派なスコア、ダブルペリアのハンディーなど必要無しでしょう。2位は浦河会の中井 保郎さん、48・48、3位は同じ浦河会の五十嵐 紀男さん、43・44のベスグロでした。又、ブービーは東神楽会の大井 忠夫さん、事業部の世話役もあり本来のスコアが出ずで終わったようです。

高橋会長杯の取り切り戦が次回第8回のコンペ、平成31年3月5日㈫、青梅ゴルフ倶楽部にて実施。

1～7回までの優勝者、第1回　木村 義隆さん（伊達会）、第2回　臼井 洋二さん（別海会）、第3回　浅井 保さん（新冠会）、第4回　五十嵐 邦男さん（あしょろ会）、第5回　服部 増義さん（遠別会）、第6回　西谷内 力世さん（旭川会）、第7回　安田 康次さん（道南会）の7名が権利を持っていますので全員参加をお待ちします。尚、参加者を増やす為の妙案などに付いても、第7回にて話し会いましたが同好会役員に一任するとなりました。

第７回のコンペ参加者

日本ハム戦・野球観戦記

東京ドーム・平成30年5月15日㈫（第1戦）
平成30年8月23日㈭（第2戦）

事業部会　大井忠夫

今年も恒例の北海道日本ハムファイターズ戦の野球応援を皆様のご協力により実施することが出来ました。

5月15日㈫対西武戦ふるさと会23団体より98名の日本ハムファンが応援観戦。

試合は5回西武の攻撃、メヒアにライト線への二塁打を打たれる。送りバントで一死三塁、秋山、源田に連続四球で一死満塁のピンチを招く。ここで先発マルティネスが踏ん張り3・4番打者浅村・山川を凡打に打ち取る。

両軍無得点のまま迎えた7回裏レアードが値千金のソロホームラン、更に大型新人清宮が22打席ぶりにライト線へ二塁打で出塁。代走杉谷が鶴岡のタイムリー二塁打で生還し2点を先制。

投げてはマルティネスが毎回ヒットを打たれるも要所を抑え7回無失点に抑える。宮西・石川直・トンキンと継投で勝利を挙げる。

清宮の人気は凄い。打席、守備位置でのプレーに大歓声と鳴りやまぬ拍手、昨年まで在籍していた二刀流の大谷（現エンゼルス）に劣らない人気でした。今後も益々の活躍を期待したい。

8月23日㈭対ソフトバンク戦ふるさと会27団体130名が応援観戦。

日本ハムは東大出身新人宮台が初先発、対ソフトバンクは武田の投げ合いで、試合開始。ソフトバンクは2回3本の長短打で2点先制。宮台は粘投するも5回二死で計91球を投げ4被安打6四球2失点で降板。

日本ハムは5回一死から浅間四球、西川のフェンス直撃の安打で一・三塁、近藤の併殺崩れの内野ゴロで1点返す。6回に中田が二塁打で出塁、二死一・三塁から代打田中の内野安打で同点に追いつく。ここから反撃の場面で、8回四番手投手トンキンがつかまり内野安打・犠打・申告敬遠・二塁打2本、死球等で計4点献上。

試合はそのまま2対6で敗れる。50年ぶりの東大出身先発の宮台は白星デビューとはならなかったが、今後に期待したい。

日本ハムは現在3位（8月30日）、クライマックスシリーズに出場し、更に日本一になれるよう応援したい。日本ハム野球応援観戦皆様のご協力に感謝いたします。

事業部会
郷土愛の都市対抗野球

＊広報部会取材記

7月14日㈯東京ドームの23番ゲートに1時30分の集合、2時試合開始のJR北海道クラブ（札幌市）対JR西日本（広島市）は、何と前の試合が延長になり、13回タイブレークの末やっと勝負がつき、入場できたのは4時30分過ぎ。

今年の夏はとにかく熱く、3時間余りの待ち時間には……何とか涼しさの中で我が郷土のJR北海道クラブ（札幌市）を応援。昨年も同じような場所にての応援でしたが先取点を奪われ、0対4で負けを覚悟していたら、9回表、なんと同点のホームランが飛び出し振り出しに、応援席の盛り上がりは最高潮でしたが結局4点止まり。その後9回裏にサヨナラ負けで今年の都市対抗戦の応援は終わりました。

JR北海道は他チームから見ても資金回りのなさがはっきり、同じJR対決でも黒字路線と赤字路線の差が応援席にも見えたようでした。しかし道産子魂が最後のホームランを生み、応援席までにも届いていました。又来年も都市対抗での郷土愛をみんなで確かめ合いましょう。

北海道倶楽部さんよりの提供写真

北海道ふるさと会連合会の企業会員ご紹介と「意見交換・懇親会開催について」

平成30年6月27日㈬　於：松尾ジンギスカン 赤坂店

我が北海道ふるさと会連合会には各ふるさと会会員と企業会員があります。この企業さんとの意見交換会および懇親会を年1度、連合会役員と北海道東京事務所長・副所長も参加して頂き3者にて実施しています。

関東近郊にある各ふるさと会87団体（大よそ150名・名簿平均×87＝13050名）が、北海道関連企業様に対し、どんな協力が出来るか又、企業側からふるさと会に対し、どのような要望があるか等々を今年度も表題の6月に行われました。

近藤所長は語る！「意見交換は北海道を成長させます」

企業会員名は次の通りです、㈱北洋銀行・㈱北海道新聞社・サッポロホールディングス㈱・サッポロフード&ビバレッジ㈱・大和ハウス工業㈱北海道支社・㈱AIRDO・㈱北の企画室・㈱北見薄荷通商・㈱北海道銀行・㈱マツオまるごと北海道・雪印メグミルク・北海道フードフロンテイア㈱・日本郵政㈱北海道支社の14企業。

今回のご出席は北海道東京事務所・所長近藤晃司様、副所長　田中浩之様、1．北洋銀行・東京支店長　若林伸夫様、2．北海道新聞社・東京支社営業部長　三浦雅典様、同　営業部　吉田穣二様、3．サッポロホールディングス㈱・コーポレートビジネス部　今井俊之様、4．サッポロフード&ビバレッジ㈱・東日本法人営業部長　坂本亨様、同　五十嵐優太様、5．大和ハウス工業㈱・北海道支社　販売事務所長　戸田裕之様、以上の9名と我が連合会の高橋会長以下5名の副会長、全員で15名。マツオジンギスカン料理・赤坂店にて例年にない、内容のある意見交換と懇親会となり、特に連合会が主催するイベント、産直フェア、日本ハム応援ツアー、旅行会、新年交礼会、等々それ以外への企業様参加のイベント、商品購入、販売協力、この広報紙への広告協力、紙面での紹介などについて意見交換があり、今後は全企業会員様の出席の下で益々中身の濃い会になることを期待し、勿論サッポロビールを飲みながらの懇親会でした。次回に益々期待。

北海道命名150年の各地事業について。

「未来へつなぐ、みんなでつなぐ。2018年、北海道命名150年。」のタイトルにて８月５日より始まった北海道命名150年記念事業は、各地にてイベントが実施されています。

この広報紙が発行された10月17日以降も北海道各地区にてイベントが行われていますので、ここで紹介します。お近くにお出でかけの折りにはどうぞ参加してください。

開催日	内容	場所
10月26日～2019年１月22日	開拓使兌換証券と円の誕生	小樽・日本銀行旧小樽支店金融資料館
10月27日	山口千壽篠笛演奏会	札幌市・北海道立文学館
10月27～28日	金葉祭	札幌市・北大13条門通
11月１～30日	子どもたちの北海道・明治から平成まで	札幌市・道立生涯学習推進センター
11月２日	女性プラザ祭・オープニングコンサート	札幌市・道立道民活動センター
11月４日	ミュジアムコンサート2018	釧路市・北海道立釧路芸術館
11月10日	ほっかいどう学を学ぶ会・第19回研究発表会	札幌市・道立道民活動センター
11月10～12月24日	松浦武四郎の足あと	恵庭市・恵庭市郷土資料館
11月11日	江別の文化・歴史を語る、つなぐ。 語り部の記録2018.	江別市・野幌公民館
11月13～25日	北海道の名付け親・松浦武四郎パネル展	上川町・上川町かみんぐホール
11月15日	開陽丸沈没150年記念講演・開陽丸を語る	江別市・開陽丸青少年センター一円
11月18日	足寄町開町110年・記念式典	足寄町・足寄町民センター
11月18日	こども工作ワークショップ vol. 3	旭川市・円山動物園いこいの広場
11月20～25日	北海道こども未来150作品展	札幌市・札幌市資料館２階
11月21～22日	北海道教育大学・スーパーウインズ2018	岩見沢市・岩見沢市民会館まなみーる、 札幌市・札幌コンサートホールkitara
11月25日	足寄町開町110年記念　第38回足寄町女性のつどい	足寄町・足寄町民センター
11月30日	北海道建築指導センター・住宅講座	札幌市・道立道民活動センターかでる
11月～12月	教育支援ボランティア	函館市･函館市および北斗市内の幼稚園･小・中学校
12月８日	第８回畜大ふれあいフェスティバル	帯広市・とかちプラザ
12月９日	せんだがや餅つき大会における・北海道命名150年・PR祝賀事業	東京都・鳩森八幡神社
12月11～12日	北海道教育大学岩見沢校　平成30年度定期演奏会	岩見沢市・岩見沢市民会館まなみーる、 札幌市・札幌コンサートホール kitara
12月15日	国際協力フェスタ2018	札幌市・札幌駅前通地下歩行空間
12月15日～2019年２月11日	幕末維新を生きた旅の巨人・松浦武四郎	帯広市・道立帯広美術館

北海道札幌定山渓温泉創業91年「ホテル鹿の湯」が直営

北の食文化は、素朴で美味しく、暖かい。

ホームページ：http://www.yukku.net

ユック
はまなす亭
北の海道

竹　橋　店 3211−6575　大　崎　店 3779−9325
新　橋　店 3501−3983　はまなす店 3237−7770
横浜西口店 045314−7895　新宿エルプラザ店 3340−3321
銀　座　店 3567−3388　北海道千歳空港店 012346−5830

東京営業本部　〒141−0032 東京都品川区大崎3−6−21
ニュー大崎マンション404号室
TEL(03)6417−0301　FAX(03)6417−0382

稚内市制施行70年、子ども達からのメッセージ

東京稚内会　会長　小坂輝雄

今年、私たちのふるさと稚内は市制を施行して70年を迎えました。終戦直後の稚内は、サハリン（旧樺太）から引き揚げて来た人たちや復員の人たち、新天地を求めての入植者などで人口が急増し、1949年に市制が施行されました。

漁業を中心に前途洋々と思われた稚内は、沿岸からニシンが消え、沖合では200海里規制で底引き船が減船するなど、大打撃を受けたのです。しかし先人たちのたゆまぬ努力と挑戦で、幾多の困難を乗り越えて市制70年を迎えています。

記念式典で、小中学校の児童会・生徒会の代表が「子ども達から、わっかないの未来へ届けるメッセージ」を発表してくれました。発表は、稚内の歴史と自然の豊かさを語り、『子育て平和都市宣言』のまち稚内を誇りに「私たちが主人公の学校をつくりたい」、そして10年後の自分たちは稚内の未来を切り拓き、周りの人たちに稚内を伝える人になりたいと、「稚内の未来・自分たちの未来」を力強く語ってくれました。

1986年の国際平和年に稚内は『子育て平和都市宣言』をし、記念式典を毎年行っています。宣言は、「……ふるさとの次代を担う子どもたちのすこやかな成長と平和なまちづくりをすすめることはわたしたち市民の責任である。」、と記されています。子どもたちを愛する市民の心が次代の担い手を育てています。

北海道命名150年と我がふるさと滝川市制60周年

東京滝川会　副会長　田湯智康

今年1月に北海道ふるさと会連合会の新年会開催の前に、高橋はるみ北海道知事の基調講演で、今年北海道命名150年の節目の年で、幕末探検家・松浦武四郎氏による蝦夷地沿岸測量をして実測図を完成させていたことをご紹介されておりました。

なるほど、我がふるさと北海道は、松浦武四郎氏の6回にわたる調査、そして当時のアイヌ人達と協力の下、「北海道」命名について「北加伊道」他5案を明治政府に提出されていて、今日の北海道があることに感銘を受けました。

その後高橋知事の講演会をきっかけに、色んな書物を読んでみました。

私の出身地は雨竜郡雨竜町、これまた武四郎氏の11カ国86郡であることにも驚き、石狩国（7郡）：石狩・札幌・夕張・樺戸・空知・雨竜・上川である。

漫然と今まで使用していた地名等も武四郎氏と深い関わりを知り得ました。

滝川市も今年で市制60周年を迎え、私の子供心にも大きな町として、出掛ける時も、よそ行きの服を着て、街の中心に行くのが唯一の楽しみでした。

もともとの滝川の名前由来：アイヌ語でソーラップチと呼ばれ、ソーとは瀧の意、ラップチとは水の上より落ちる形の意、この2語を連結して瀧の川になると、当時の書物に記載されていました。是非これを機に滝川市の魅力を探検して頂ければ幸いです。

辯護士　安井規雄
（東京東神楽会 会長）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-13
虎ノ門上野ビル3階
安井・好川・渡辺 法律事務所
TEL 03（3580）1811(代)
FAX 03（3580）1812
E-mail nyasui@y9.dion.ne.jp

池田税理士事務所
税理士　池田俊一
うらかわ観光大使
（北海道ふるさと会連合会　監事）
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7丁目16番14号ミクラ西新宿ビル五階
TEL 03－3361－5998　FAX 03－3361－6945

TOKACHI WINE
SINCE 1963
十勝ワイン
北海道産ビンテージ赤
「北海道産ビンテージ赤」は十勝ワインの熟成した赤ワインを多くの方に楽しんでいただきたい。そんな気持ちで造りました。清見種、ツバイゲルトレーベ種、山幸種が醸し出すハーモニーを是非お楽しみください！
希望小売価格 1,480円税込（1,371円税抜）
(720ml)
池田町東京事務所 <飲酒は２０歳になってから>
住所：東京都中央区日本橋小網町13-2オーチュー小網町ビル7階
電話：03－5643－8855

我がふるさと

東京幌加内会　副会長　半　澤　二　也

ふり返ると、我がふるさとの強烈な印象は、〝雪深く寒いところ〟。

当時、国鉄の赤字路線で有名な深名線は冬には積雪のため遅延・運休が多く、ラッセルまたロータリー車で除雪していました。その深名線も平成7年頃に廃線。

1月下旬～2月頃には、マイナス30度になると学校も休校となりました（幌加内は最低気温マイナス41・2度の記録があります）。

春4月ともなると深く積もった雪は、太陽の熱で解けだし、夜から翌朝の冷え込みで表面が硬く凍り、大人でも雪の上を自由に歩行することができるようになります。

農家では融雪を早めるため、凍った雪の上に黒土とか堆肥を撒き、1日も早く畑を耕すことができるよう準備に取り掛かります。

雪解けとともに、谷地に水芭蕉が咲き始め、フキノトウ、ワラビ、ゼンマイ、フキ、行者ニンニクなどの山菜も豊富に出回ります。

当時の農作業は手作業または馬での耕作です。主な農産物は、米、ジャガイモ、麦類、豆類、トウモロコシ、ビート、ハッカなどでした。若者たちが新天地を求め、札幌、旭川へと離農していった昭和40年代頃からは、主生産物は人手がかからず不毛地でも育つそば栽培へと転換し、昭和55年頃よりそばの作付面積、収穫量共に日本一を誇るまでに育っています。

遠く離れた東京の地からではありますが、今も「幌加内、頑張れ！」とエールを送っています。

懐かしい「板かるた」を楽しむ

東京沼田会

「……我が衣手は露にぬれつつ」、懐かしい詠み手の声が会場に響きわたる。一瞬幼い頃にタイムスリップしたような錯覚に陥る。

東京沼田会の総会懇親会が、11月18日「アルカディア市ヶ谷」で開かれ、その場で久しぶりに「北海道の板かるた」を楽しんだ。

厳しい冬の時期の遊びとして親しまれて、正月に親族が集まったときに家族総出で楽しんだり、近所・町内で集まり楽しんでいたのが思い出される。夫婦対抗では、ふたりの力関係が伺えることもある。家族対抗では、ほほえましい和やかな光景も目に浮かぶ。

本州（内地）では、小倉百人一首として親しまれているが、北海道では、おなじみの板かるた（下の句かるた）である。東京に住む会員は木製のかるたを初めて見る人もおり、全く経験ない人もいる。久しぶりに見る読みづらい変体仮名で四苦八苦しながら進んだ。見事な文字体は北海道の文化といっていい。「我が衣手ハ……」と「我が衣でニ……」では、やはり、てっぱ（お手つき／取り間違い）」がでる。決めごともほどほどになるが、それも許された。会場は応援と歓声に包まれ、遠くふるさとを離れた道産子には、昔の懐かしさに浸るひとときであった。

かるたを楽しむ会員

地名の由来

東京ふるさと新得会
会長　秋　山　憲　一

北海道の地名にはアイヌ語に発するものが多く新得の主な地名を紹介します。

新得（しんとく）シントコのなまりであって、山の肩または端を意味している。アイヌ語の完全な形はシリエトクオでシリは平原に対する山、エトクは端、オは出ずるである。すなわち「シントコ」はトカプチ山脈を越える道路の（狩勝峠か）入り口にある平原の上と解される。

新内（にいない）ニウンナイといい木の沢の意味です。山また山に囲まれた沢であって、しかも樹木の多いところであったからこう呼んだのでしょう。

屈足（くったり）クッタラウシといいクッタラはイタドリのことでウシは立つあるいはあるの意味。むかし、この地帯にイタドリが生い茂っていたのでこの名がある。

佐幌（さほろ）サオロ、サウロ等といわれ、札幌と同じくサトポロからなまってきたものと思われ、乾燥した広い場所という意味である。この地帯は高台で川がほとんど流れていないのでこの名があると思われる。

石材クリーニング（清掃）の
サーリット

石材（墓石・家の塀・玄関・庭石）を手洗いで清掃している会社です。我々のふるさと（北海道）をいつまでも綺麗に共に保存しませんか。

お問い合わせ、お待ちしております。

合同会社 サーリット　代表社員　早坂一也

〒065-0027　北海道札幌市東区北27条東17丁目1-2
Tel:011-313-0134・FAX: 011-351-5703
http://salit0615.com/

ホッとするおいしさ。北海道からおとどけします。

北海道各産地自慢のこだわり
農産物・海産物
北海道ならではの
肉加工品
人気の
北海道スウィーツ
全道から種類も豊富な
牛乳・チーズ
評判のこだわり
ワイン・日本酒
さわやかな味わい
ソフトクリーム
ほかにも、おいしい
北海道が豊富です。

北海道どさんこプラザ
Hokkaido Dosanko Plaza
東京交通会館1階

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号
（JR山手線有楽町駅1分、東京メトロ有楽町線有楽町駅3分）
TEL.（03）5224-3800　FAX.（03）3217-0411［www.dosanko-plaza.jp］
■営業時間/午前10時～午後8時　年中無休（年末年始を除く）

北海道ふるさと会連合会 様

祝 40周年

御会結成40周年を迎えられ、誠におめでとうございます。
さらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

※掲載の写真はイメージです。

おかげさまで
ダイワハウスも
北海道で実績を
重ねてきました。

プレミスト札幌ターミナルタワー［分譲済］

プレミスト新札幌ステーションエクス［分譲済］

プレミスト植物園北2条［分譲済］

北海道の暮らしに寄り添い、快適な都市生活を求めて。
ダイワハウスがお届けする分譲マンション「プレミスト」。
いつまでもお客様に愛される、価値あるマンションづくりをすすめてまいります。

マンションの購入や土地の売買など
不動産に関することは何でもご相談ください。

お問い合わせは、札幌マンション営業所
TEL.011-750-3206（担当：伊藤・戸田）
営業時間／9:00～18:00（土・日・祝日定休）

Daiwa House®

江戸最初山手七福神巡り・目黒界隈散策に参加して

東京登別げんきかい 事務局長 宮高 隆

平成元年に産声をあげ、今年設立30周年を迎える。『東京登別げんきかい』は平成時代最後の春のイベントを5月26日JR目黒駅に計37名集合して実施。

健脚組は元祖山手七福神巡り（大円寺・瀧泉寺目黒不動尊・蟠龍寺・妙円寺・瑞聖寺・覚林寺）に参加。道中白金台の高級住宅街にあってドン・キホーテの賑やかな人の出入りは何故か違和感があった。

歩き控え組は目黒雅叙園・東京都庭園美術館へと二手に分かれて共通の最終ゴール地懇親会場を目指す。

歴史の勉強・社会科見学で頭の体操と汗を流した後、歩き遠慮・ひたすら飲む・食べる・喋る会員が待っている居酒屋「駒八目黒さんまセンター」に全員再集合して大懇親宴会の開始。高級魚?「さんま三昧」の料理に舌鼓を打ち、新人会員の紹介、互いの無事（?）を確かめ、近況を話し合う。

時間も瞬く間に過ぎ、秋の総会での再会を約束して2次会・3次会へ延長戦を楽しむ。

ふるさと談義に話が弾む

幕別出身の若い女優を応援しています。

東京幕別会 会長 黒島 一郎

記念写真

幕別町から女優を目指して東京に出てきて、高校の同窓会が縁で東京幕別会の役員で活躍し、私たちに元気をくれている人がいます。彼女（芸名：南風ゆり）は、東京で劇団に入団し重要なポジションを任されるまでになっており、年に数回の公演を主に本拠地のシアターで行っています。彼女の1番の願いは地元幕別にて凱旋公演を行い、多くの人に夢と希望と感動と元気を与えて、今後の生きる原動力になってもらい、地元に少しでも恩返ししたい、とのことです。その願いを叶えてあげたいという思いもあり、東京幕別会から数名が観劇して応援をしております。

観劇の後は、記念写真付きで報告がメールにて送られ、情報の共有を行っています。最近の公演は6月14日㈭～17日㈰に行われましたので、その際の報告を抜粋して、彼女の願いの実現に近づけたいと思います。

以下、報告から

公演内容は、京都の老舗〝柊亭〟を外人向けの和食専門店建設用地に目を付ける。今流行りの創作料理屋とか云うやつだ。買収は東京の不動産屋と歌手の後援会長ゆりさんで暗躍する。そして、これまた人間模様が複雑なんだ。柊亭の女将に息子が居て、その恋人が不動産屋社長の娘、女将と社長はその昔恋仲で……と

結末は、女将が老舗料亭の食に対する食材や料理法の考えを滔々と述べ、社長は感激し契約書を破棄する。

劇団グスタフは演劇を通して「食」について改めて問い直し、演劇の〝心〟と身体の〝食〟をコラボレーションして、皆さんの幸福感を醸成していただこうと考えた次第である。なんたって終演後舞台前でサプライズの料理が振る舞うのはグスタフ、ここしかないでしょう。

この記事に興味を持たれた方は劇団グスタフのホームページを見て頂き、狛江まで足を運んで下さい。

我がふるさと置戸、置戸遺跡、そして発掘の裏話

ふるさと置戸会 副会長 高木 靖雄

北海道には旧石器時代の遺跡が500ヶ所程あるといわれており、置戸遺跡群もその中に含まれる。私が小学4年生の時、昭和28年だと思う、雪解け直後、中3の兄と我が家の畑で遊んでいた時、真っ赤にさびた脇差程の長さの日本刀を見つけた。一緒に矢じりや土器の破片も見つかったので、物好きにも兄と一緒に深さ1m程幅広く掘り起こしたが、出土した土器の破片と黒曜石の矢じり類は、みかん箱半分の量になりその処置に困ってしまった。たまたま同級生の父親である置戸神社神主の藤川尚位氏が土器類を集めている話を聞いていたので、これを藤川氏に届けた。藤川氏のコネクションで、北大の児玉・大場教授のグループによる本格的な発掘が始まったのは、その3年後昭和31年であった。発掘場所は平地にある我が家の畑ではなく少し離れた常呂川流域南傾斜面となったが、これが置戸遺跡発掘のはじまりである。以降この集落を中心に10年以上にわたり数多くの遺跡が発掘されている。上野の東京国立博物館にも、置戸遺跡から出土した矢じりと土器が展示されていた時期がある。（現在は現物展示は無く地名だけの掲示）。

因みに錆びた刀は、明治以降のアイヌが使っていた日本刀とのことで、たまたま我が家の畑に落ちていたらしく、考古学的には無視された。現在はどこにあるのやら。

余談であるが、現在の我が家にも今でもいくつかの石器がころがっている。勿論畑で拾ったものであり写真に示す掻器（そうき）もその1つである。次女が小学2年生のころ、担任の教師が家にある古いものを生徒に持ってこさせた際、彼女がこの石器を持って行った。「私の石器が1番古かったよ、1万年前だもん！」と鼻高々満願の笑みで帰宅した顔を今でも思い出す。

黒曜石（十勝石）製の
掻器（そうき；皮なめし器）

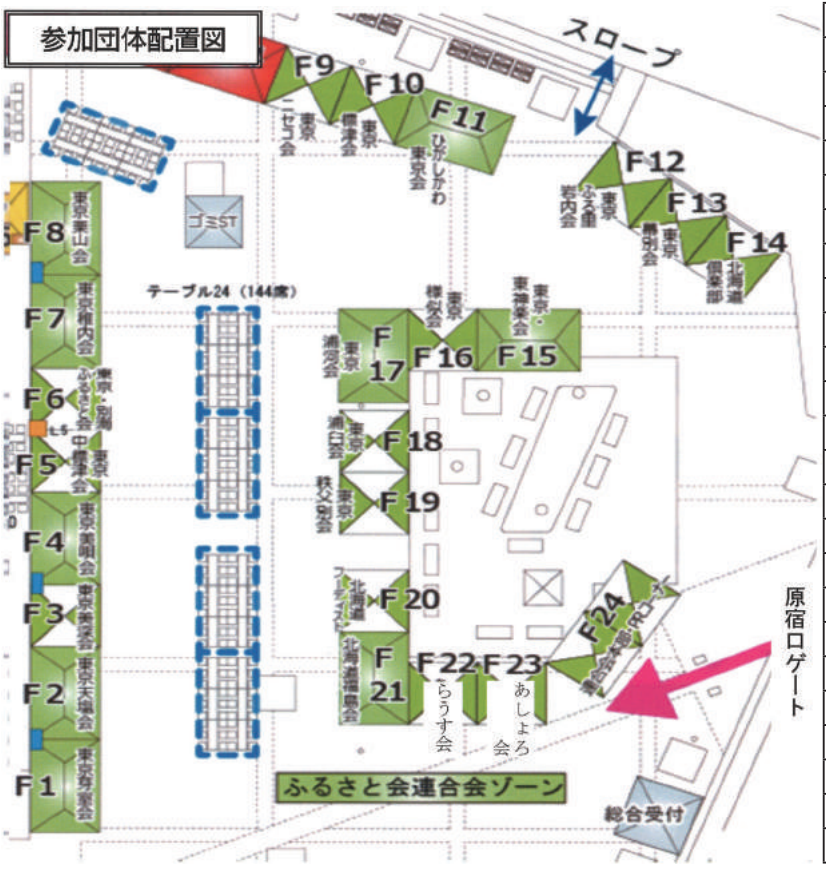
第30回 北海道フェアin代々木

ザ・北海食道®

The Road of Hokkai-Foods

平成31年度の開催予定日
平成31年10月3日㈭～6日㈰（4日間）

平成30年（2018年）10月５日㈮～10月８日㈪４日間開催
「北海道ふるさと会連合会ゾーン・24店舗の紹介」



区画 No	サイズ	出店会名
F1	L	東京芽室会
F2	L	東京天塩会
F3	M	東京美深会
F4	L	東京美唄会
F5	M	東京中標津会
F6	M	東京・別海ふるさと会
F7	L	東京稚内会
F8	L	東京栗山会
F9	M	東京ニセコ会
F10	M	東京標津会
F11	L	ひがしかわ東京会
F12	M	東京ふる里岩内会
F13	M	東京幕別会
F14	M	北海道倶楽部
F15	L	東京・東神楽会
F16	M	東京様似会
F17	L	東京浦河会
F18	M	東京浦臼会
F19	M	東京秩父別会
F20	M	北海道フーディスト
F21	L	北海道福島会
F22	M	東京らうす会
F23	M	東京あしょろ会
F24	LL	連合会本部役員の皆さん

F24　連合会本部役員

F1　東京芽室会

F2　東京天塩会

協賛企業（順不同）

公益社団法人北海道倶楽部
北海道に貢献する北海道倶楽部

株式会社北海道銀行　すべては北海道のために

株式会社北洋銀行　北海道の明日とともに

北海道放送株式会社
みんなで食べよう！北海道　ＨＢＣ北海道放送

北海道文化放送株式会社
キミと、ずっと。　ＵＨＢ

札幌テレビ放送株式会社
どん　どん　どさんこ　ＳＴＶ

株式会社北海道新聞社
いつだって、私たちは北海道の味方。

株式会社AIRDO　「北海道の翼　AIRDO」

株式会社マツオ
いつも笑顔の真ん中　松尾ジンギスカン

雪印メグミルク株式会社
未来は、ミルクの中にある。

北海道フードフロンテイア株式会社
“北海道おいしいショップ”もっと身近に北海道

サッポロビール株式会社
「乾杯をもっとおいしく」

株式会社北海道日本ハムファイターズ
北海道日本ハムファイターズは、
北海道・産直フェアを応援しています。

ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社
おいしい「！」がある

株式会社北見ハッカ通商
ハッカで栄えた街 北海道北見市 歴史を今に伝える。

北海道どさんこプラザ有楽町店
『北海道の「おいしい」が 1,200アイテム以上！』

大和ハウス工業株式会社
永く、優しく創りながら美しく。
それがダイワハウスのマンションづくりです。

日本郵政株式会社北海道支社
そばにいるから、できることがある

一般社団法人摩周桜の森
「北の大地に、桜の森を!!」

F3　東京美深会

F4　東京美唄会

F9　東京ニセコ会

F7　東京稚内会

F5　東京中標津会

F10　東京標津会

F8　東京栗山会

F6　東京・別海ふるさと会

F19　東京秩父別会

F14　北海道倶楽部

F11　ひがしかわ東京会

F20　北海道フーディスト

F15　東京・東神楽会

F21　北海道福島会

F16　東京様似会

F22　東京らうす会

F17　東京浦河会

F12　東京ふる里岩内会

F23　東京あしょろ会

F18　東京浦臼会

F13　東京幕別会

「ふるさと観光PR協賛」ふるさと会

- 東京旭川会
- 東京あしょろ会
- 東京厚沢部会
- 東京ふる里岩内会
- 東京浦河会
- 東京浦臼会
- 東京恵庭ふるさと会
- 東京江別会
- 東京遠別会
- 東京北見会
- 東京くっちゃん会
- 東京栗山会
- 東京札幌会
- 東京様似会
- 東京サロマ会
- 東京標津会
- 東京下川会
- 東京ふるさと斜里会
- 東京白老会
- 東京ふるさと新得会
- 東京滝川会
- 東京伊達会
- 東京秩父別会
- 東京常呂会
- 東京天塩会
- 北海道道南会
- 東京中標津会
- 東京新冠会
- 東京ニセコ会
- 東京根室会
- 東京美瑛会
- 東京東神楽会
- ひがしかわ東京会
- 東京美唄会
- 東京美深会
- 東京美幌会
- 北海道福島会
- 東京別海ふるさと会
- 東京本別会
- 東京幕別会
- 東京女満別会
- 東京芽室会
- 北海道森町ふる里の会
- 東京夕張会
- 東京余市会
- 東京らうす会
- 東京稚内会
- 東京雨竜会

名刺広告のご案内

（五十音順で掲載しました）

東京旭川会
会長 加藤桂子
副会長 小松仁志
副会長 荒川繁
副会長 大場孝仁
副会長 並河典子
副会長 海老澤美智子
事務局長 山崎正之
名誉顧問 原公朗
顧問 高橋照美
相談役 西谷内力世

東京あしょろ会
会長 湯浅徳弥
事務局長 久慈優子
顧問 五十嵐邦男

東京厚岸会
会長 中村武史

東京・厚沢部会
会長 関桃子

東京あぶた・とうや湖会
会長 篠原博

東京十勝池田会
会長 陶久清

東京ふる里岩内会
会長 伊野達哉
副会長 庄崎悟
副会長 大石浩之
副会長・幹事長 下田和房
事務局長 和泉剛

東京岩見沢会
会長 金子邦彦

東京浦河会
会長 中井保郎
副会長 杉本喜吉
相談役 池田俊一
事務局長 中村達彦

東京浦臼会
会長 尾田武雄

東京恵庭ふるさと会
会長 奥山範夫

東京十勝浦幌会
会長 山田清志

東京江別会
会長 角谷祐輔

東京遠別会
会長 西島秀雄
顧問 森隆信

ふるさと置戸会
会長 石井敏明
副会長 石澤隆光
副会長 遠藤千代子
副会長 高木靖雄

東京小樽会
会長 清水川洽二

東京帯広会
会長 森田邦雄

柏・北海道人会
世話人一同

東京北見会
会長 井戸理恵子
幹事長 鈴木富雄

東京くっちゃん会
会長 高木武良
副会長 坂井聖
副会長 八木淳子
事務局長 吉田穣

東京栗山会
会長 渡辺貞

東京札幌会
会長 米田文雄

東京様似会
会長 橋爪年幸

東京サロマ会
会長 足利稔
副会長 渡辺秀雄
副会長 浦島外吉
副会長 平瀬章三
副会長 宇佐貴雄
事務局長 西沢孝洋

東京士別ゆかりの会
会長 石王英明

東京下川会
会長 井上晃一
副会長・事務局長 宮澤國雄

東京白老会
会長 橋本聖子
副会長 堀川哲夫
副会長 鈴森二朗

東京ふるさと新得会
会長 秋山憲一

東京大樹会
会長 中川定敏
副会長 黒川登
副会長 田中井清司

東京滝川会
会長 松本守

東京伊達会
会長 高橋郁夫

東京秩父別会
会長 大西倫利
副会長 寿崎裕征
副会長 桑原政巳
幹事長 飯島洋治

東京天塩会
会長 田所政則
常任顧問 高林幹雄

東京当麻会
会長 山根清
理事 佐藤幸博
理事 高島芳美

北海道道南会
会長 薬袋泰
副会長 島田瑞子
副会長 三村寿雄

東京常呂会
会長 馬渕照男

東京とまこまい会
会長 進藤清貴
副会長 石堂鉄雄
副会長 遠藤直子
副会長 大我晴敏

東京なよろ会
会長 木原碩美
副会長 沢田吉博
副会長 中村正道
副会長・事務局長 藤原一也

東京新冠会
会長 高橋守
副会長 浅川保
副会長 栗原誠
副会長 田中洋子
副会長・事務局長 武田雅雄
幹事長 岩崎悟

東京沼田会
会長 田坂勝芳

東京根室会
会長 長岡静志

東京登別げんきかい
会長 大津信二

東京ふるさと浜中会
会長 加藤一彦
事務局長 栗本修己

東京東神楽会
会長 安井規雄
副会長 増田晴紀
事務局長 大井忠夫

東京比布会
会長 牧野 正
役員一同

東京美唄会
会長 三井照夫
事務局長 林 芳雄

東京美深会
会長 鳥羽博之

東京美幌会
会長 八嶋忠雄

東京広尾会
会長 土谷祐大
事務局長 岡田金一

東京深川会
名誉会長 杉村 豊
会長 関 肇

北海道福島会
会長 鎌田博喜

東京・別海ふるさと会
会長 新家鶴男
副会長 佐藤 功
副会長 小柳百合子
副会長 竹澤勇子
副会長 遠藤敏行
副会長 臼井洋二
副会長・事務局長 金子昭雄

東京北斗会
会長 佐藤金也
副会長 坂本東洋志
副会長 佐藤則道
事務局長 米田正彦

東京幌加内会
会長 森谷 實
事務局長 川島武久

東京本別会
会長 新津悦男
副会長 陶久悦子
副会長 石井 豊
顧問 前田廣治

東京幕別会
会長 黒島一郎

東京室蘭会
会長 沢 邦彦

東京芽室会
会長 栄前田勝良
副会長・事務局長 梶澤政治
副会長 武田富士雄

北海道森町ふる里の会
会長 山形威文
副会長 若山 孝
幹事長 岩村昌治

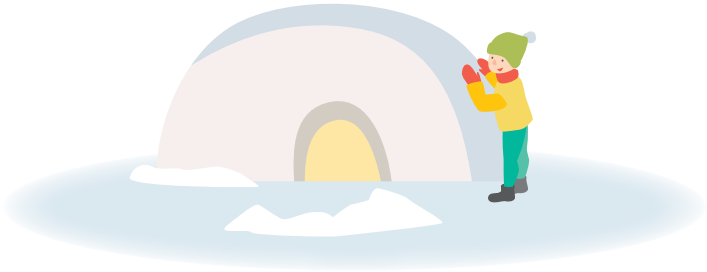
東京余市会
会長 園田保男

東京らうす会
会長 三谷 修

東京陸別会
会長 宮崎民雄
事務局長 植田英範

東京るべしべ会
代表 佐藤 勉

東京稚内会
会長 小坂輝雄
副会長 加藤誠一
副会長 濱森憲一
副会長 東出 甫



ふるさと会連合会には現在87団体が加盟、その中64団体の皆様が今号へも名刺広告にご協賛、厚く厚く御礼申し上げます。

川や海や山に囲まれた我がふるさと

東京天塩会　安岡忠義

天塩町は秀峰天塩岳（1558m）を源流に士別市、名寄市を流れて北上して日本海に注がれている日本第4位の長流天塩川（256km）の河口に拓かれた街だ。北緯44度に位置し漁業と酪農に恵まれ353㎢の広さです。街の前面には日本海が広がり魚介類が豊富だ。町ではそれらの特産品を使い毎年しじみ祭り、港祭り、夏祭り、秋の味覚祭り等のイベントがあり地元の人達や近隣から多くの人出で盛大です。そんな恵まれた故郷から関東各地に越してお住いの人達が昭和56年に東京天塩会を発足し多くの天塩出身者が加入して旅行、総会、故郷訪問などの催しを行っている。特に北海道産直フェアには故郷天塩をPRすべく支援を頂き出店、しじみラーメン、鮭の白子バター焼きなどは例年長蛇の列ができる大盛況だ。併し業界の抵抗に会い一時中断しました。運営本部に折衝の結果しじみラーメンを復活することができました。また、産直の会場を「てしお仮面」が回ると大人や特に子供達には大人気だ。

故郷はご多分に漏れず少子高齢化が進み人口の減少は否めない。天塩会では会員に呼びかけ「ふるさと納税」に取り組んでいます。

故郷の前面は海だと書きましたが其の水平線に沈む夕日は真赤に染まり又右前方の水平線上には雄大な利尻山（1721m）が夕日に照らされ茜色に染まり暮れ泥んでいると時間の経つのも忘れてしまいそうだ。

福島県での「ため池」除染体験記

北海道福島会　副会長　中村武則

3年前の11月より2ヶ月間、福島県岩瀬郡天栄村で、東日本大震災による、福島第一原発事故での農業用ため池の「セシウム除染」作業を体験した。

この工法は、本来湖沼、池にたまった土砂やヘドロを、水を抜くことなく除去し、脱水し、用土として応用する技術です。

過去の施工例としては、長野県松本城お堀、善光寺大勧進池、馬事公苑ひょうたん池、学習院皿の池、町田市広袴公園等、数十件があげられます。

今回は、福島県の技術実験実証に、我が社が応募し採用されました。技術の概要は、堆積土（ヘドロ）を撹拌ポンプで吸引し、小型の水処理プラントと脱水機を使用して、砂、有機物（ゴミ）、水、脱水土に分離回収するシステムです。

作業は、朝8時に事務所でのミーティングから始まり周囲の空間線量の測定（異常なし）を確認後、作業開始。湖上に浮かべた台船に吊り下げられた撹拌ポンプで湖底の汚泥を吸い込み、地上のプラントで脱水処理、ベルトコンベヤーで搬送し、大型土嚢袋に詰め完了。期間中の宿舎は温泉付き民宿で快適な環境でした。民宿の女将さんに、「中村さん田舎はどこですか？」と聞かれ、「北海道の福島町です」と答えると、「それはどの辺ですか」と聞かれ、「千代の富士の出身地です」と言ってすぐに判ってもらえました。

福島県の復興はまだまだ続きます。

被災地の方々に接し、「1日も早く元の生活に戻りたい」また離れた土地で避難生活を余儀なくされている方々の「故郷に帰れることを願い」「懸命に生きる姿」に敬意を表する次第です。

北洋銀行はがんばっているあなたを応援します。
HOKUYOファミリー ほっくーとゆかいなたち
北洋銀行
www.hokuyobank.co.jp

銀座で創業41年、
都心の不動産のことならお任せを！
不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります
株式会社 八千代商会
代表取締役　堀川哲夫（東京白老会・副会長）
公益社団法人
東京都宅地建物取引業協会会員
都知事免許（10）42450
〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目11番7号
電話　03-3545-1466（代）
FAX　03-3546-3860

苫小牧市政施行70周年

東京とまこまい会
事務局長　佐々木　清美

今年は苫小牧市政施行70周年という記念すべき年であり、地元では様々な記念イベントを企画している所です。

又地元苫小牧のＰＲ動画も完成し、現在市のホームページでも閲覧が可能です。動画の内容としては、20代の若者が偶然街に降り立ち、苫小牧の魅力を体感するといったものです。是非、昔から変わらない苫小牧・進化した今の苫小牧をご覧ください。

又「東京とまこまい会」の紹介ですが、「郷土愛を高揚し、会員相互の連帯感を養い、親睦を通じて共存共栄を図り、郷土苫小牧市の繁栄と前進に寄与する」ことを目的として昭和60年に設立されました。

昨年10月6日に開催された総会・懇親会には、ご来賓、苫小牧にご縁のある企業・団体の方、会員等、１９０名の皆様にご参加いただき、盛会のうちに終了することが出来ました。懇親会では、ホッキ貝、毛ガニ、シシャモ、秋鮭など地元から取り寄せた食材を用いた「ふるさとの味」や、苫小牧出身の若手ミュージシャンのミニライブなどを楽しみつつ、ふるさとの思い出や最近の話題で大いに盛り上がりました。更に協賛各社様、苫小牧観光協会様よりご提供いただいた豪華賞品の当たる大抽選会を催し一喜一憂する姿で賑わいました。

このように盛りだくさんの催しが出来ました事はひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げる次第です。今年も10月19日に開催を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

ふつうにみえそうで〝ふつう〟ではない「写真の町」

ひがしかわ東京会　事務局　中田　勉

北海道ひがしかわ町民にとって普通なことが町外からみると〝ふつう〟でないことに気づかされる。ここでは、その〝ふつう〟ではない共同・共益・協働の〈らしさ〉が、どのように形成されたか、１２５年の歴史に学んでみたい。

１８９５年　東川村開基。
１８９６年　移住団員による稲作収穫。
１９００年　水利起工組合誕生。
１９３１年　季節保育所始まる。
１９３６年　16ミリ映画『東川ニュース』制作始まる。
１９５１年　落差２７０ｍの「羽衣の滝」名勝天然記念物に指定。
１９６６年　旭川空港開港。
１９６９年　「旭川木工団地東川センター」スタート。
１９８５年　「写真の町」宣言。「暮らし楽しくフェス」初開催。
１９９２年　ラトヴィアの独立伝える「人間の鎖」等の写真展開催。
１９９４年　「写真甲子園」開始。
２０００年　飛弾野数右衛門写真展・昭和の東川』開催。
２００２年　「美しい東川の風景を守り育てる条例」制定。幼児センターオープン。
２００６年　「君の椅子」ＰＪ開始。
２００８年　Prime Town Higashikawa づくり開始。
２０１２年　「東川米」が特許庁地域団体商標登録。
２０１３年　「大雪旭岳源水」同登録。
２０１４年　「写真文化首都」宣言。この20年間で人口が1千人増。
２０１６年　「東川国際文化町づくり実行委」発足。
２０１７年　「ＨＵＣ」刷新、最先端ＩＴカード誕生。
２０１８年　日本の未来育むＰＪ始まる。
同年６月11日、羽衣の滝遊歩道が５年ぶりに再開、７月７日、東川町複合交流施設〈せんとぴゅあⅡ〉（写真）オープン。

せんとぴゅあⅡ　大雪山アーカイブス　コーナー
◇テーブルには、羽衣の滝にあやかった天人峡の花〈ハゴロモホトトギス〉の愛おしい黄色の花が咲いていた。

第6回ふるさと訪問を実施

東京くっちゃん会
会長　高木　武良

私は昨年11月18日の第７回総会で第３代目の会長に選出されました。東京くっちゃん会は早いもので設立から７年になります。

去る２月に開催された平昌五輪では北海道勢の活躍が目立ちました。倶知安町からもバイアスロン（女子10㎞追い抜き）に古谷沙里選手が参加し大健闘いたしました。今後の一層の活躍が期待されます。

また倶知安が羊蹄山の麓に開墾されてから１２５年の年月が流れました。短いような長いような歴史の中で、ふるさと倶知安町は新幹線の開通・新駅の建設、役場庁舎建設、高速道路の建設・開通など、近い将来大きく飛躍しようとしております。

冬期間は住民の１割が外国人で占めるほど海外からも注目を集めています。大きく変貌するふるさとへの訪問は今年で６回目になり８月３日～６日に10名程予定しています。特に恒例のじゃが祭りに飛び入り参加し駅前通りを町民の皆様と一体になって踊りの列に入れていただき、例年気持ちの良い汗をかいてきました。また定宿にしている大仏寺の付近のホテル羊蹄閣の露天風呂から展望する羊蹄山・ニセコの雄姿は感動モノです。エゾリスの生息する半月湖、自然林に囲まれた神仙沼の散策は訪れる者には都会では味わえない天然の安息を与えてくれます。このようなふるさと満喫の旅を会員の皆様と継続できることを願っています。

「ああ、上野駅」から60年！

東京新冠会　幹事　高瀬良和

ちょうど60年前の昭和33年の3月、中学2年を終えた私は、東京の叔父のもとに預けられるべく、まだ夜明け前の日高線、新冠駅に母に見送られ、高校を卒業したての姉とともに汽車に乗った。苫小牧から函館、青函連絡船で青森へ、夜行列車と乗り継いで、一昼夜かけて降り立った朝の上野駅のホームには、叔父夫婦の姿があった。

私は叔父家に居候しながら学校へ行くが、農家の次男坊が食いぶちを求めて都会地に出た、集団就職世代の一人だったのだ。昨年末にその母を102歳で亡くし、今年に入って第二の母ともいうべき叔母を99歳で亡くし、自分も後期高齢者の仲間入りで、改めて一つの時代の終わりを感じる今日この頃である。

各ふるさと会は会員数の減少に悩まされているが、ふるさとの市町村自体が過疎化の問題を抱え、個別的にもふるさとを出るどころの騒ぎではない、その絶対数が減ってきている背景がある。これからのふるさと会は、地元市町村の移住者受入れ推進の動きに協力できることは協力し、率先して移住する、あるいはふるさと会総会を地元市町村で開催することなども一つの切り口かもしれない!?

因みに、私が世話になった叔父夫婦は、叔父が早期退職した後故郷の新冠町に移り、「判官館ユース、青年の家」の管理人などをしながら、しばらく暮らしたものである。

遠別バレーボール小学生全国大会準優勝!!

東京遠別会　幹事長　岸　満幸

8月7日から10日首都圏5会場にて第38回全日本バレーボール小学生大会が開催され、全国各地で勝ち残った混合41チームが対戦し、見事北北海道代表の遠別イーグルスが準優勝しました。西島会長始め延べ20名の東京遠別会応援団は、選手のこの活躍と快挙に感動・感謝のしっぱなしでした。

人口2700人、小学生数120人の小さな北海道北端の町から男女それぞれ6人のチーム編成は困難となっていました。ところが幸運にも2014年大会から男女混合チームの参加が始まり、遠別は翌2015年、2016年と北北海道大会を勝ち抜き全国大会へ駒を進め、ベスト16、ベスト8までは勝つことが出来ました。

しかし昨年はメンバーの卒業もあり、代表を逸しましたが、今年は一昨年に負けないメンバーが揃い代表に復帰し、ベスト8の決勝トーナメントにて準々決勝、準決勝と勝ち上がり、ついに決勝まで来ました。思わず優勝!?と思いましたが、常連の強豪には歯が立たず悔し涙となりました。

南北海道代表の木古内が2015年に同じ準優勝しており、次回は是非優勝と選手・監督コーチは決意を新たにしました。

母校への思い

東京本別会　横川義洋

この6月、本別高校の同窓会「清流会」が開かれ、現校長先生より母校の近況を伺うことができた。私達18期生の卒業が52年前、当時は1学年に普通、商業、農業の各科計7クラス、3百数10名が在籍していたと記憶するが、今年度は新入生が38名、全校生徒117名ということであらためて少子化、過疎化の深刻さを実感した。且つては、あと一歩で甲子園ということもあった伝統の野球部も3年生1人だけとなってしまったが新1年生6人が入部し、他の部からの助けを借りて、合同チームではなく、HONKOのユニフォームで十勝地区大会に出場できたとのこと、残念ながら初戦敗退ではあったけれど、その健闘に拍手を送りたい。

本別高校の伝統行事にクラス対抗駅伝競走があった。秋の学校祭最終日、1年生から3年生までの全20クラスがそれぞれチームを編成、朝8時に陸別駅をスタートし、薫別・大誉地・上利別・愛冠・足寄・仙美里・本別・勇足の各駅でタスキを繋ぎ、ゴールは本別駅の9区間、同級生の自転車での伴走と沿道の熱い声援を受けて力走する、本当の意味の駅伝競走であり、町の名物行事でもあった。池北線が廃止され、線路も駅舎も消えてしまい、また、学校の生徒数が減ってこんな大きな催しは二度と出来ないだろうが、昔こんなこともあったと後輩たちが語り継いでくれるなら幸いである。そして何よりも、本別に母校があること、どんなに小さくなっても、ふるさとに「本別高校」があること、それを心から願いたいと思っている。

Sa sa ki Kogei
株式会社ササキ工芸
〒079-8424
北海道旭川市永山14条3丁目4番10号
電話:0166-25-2288　/　FAX:0166-22-2101
http://www.sasaki-kogei.com

東京直営店　nocra（ノクラ）
〒110-0005　東京都台東区上野5-9　2k540内
Tel: 03-6806-0443 / Fax: 03-6806-0440
http://www.nocratokyo.com
nocra hokkaido craft

HOKKAIDO FOODIST
北海道フーディスト
〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目1
八重洲地下街
■TEL／03-3275-0770
■営業時間／10:00~20:00
■定休日／年中無休
（1月1日のみ店休）

八重洲地下街MAP
日本橋方面
新店舗
H&M
神戸屋
カフェドクリエ
メインアベニュー
外堀地下3番通り
八重洲中央口 東京駅
八重洲南口

北海道名物

松尾ジンギスカン

公式サイト http://www.matsuo1956.jp/ 新宿三丁目店 http://www.matsuo1956.jp/shop/shinjuku3/

感謝!!

北海道ふるさと会の皆様、懐かしの
「松尾ジンギスカン」が東京でもお楽しみ頂けます。

伊勢丹新宿本店
目の前!!

「新宿三丁目駅」B2出口徒歩0分
各線「新宿駅」より徒歩6分

新宿三丁目店（74席）

東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド会館5F

Tel 03-3226-2989

ランチ 11:30～15:00（14:30 L.O.） / ディナー 17:00～23:30（23:00 L.O.）

「銀座駅」・「東銀座駅」徒歩1分

銀座店（67席）

東京都中央区銀座5-9-5 チアーズ銀座2F
TEL 03-3572-2989

ランチ 11:30～15:00（14:30 L.O.） / ディナー 17:00～23:30（23:00 L.O.）

「赤坂駅」徒歩1分・「赤坂見附駅」徒歩4分

赤坂店（121席）

東京都港区赤坂4-3-6 A-FLAG赤坂 B1
TEL 03-3585-2989

ランチ 11:30～15:00（14:30 L.O.） / ディナー 17:00～23:00（22:30 L.O.）
【土日祝はディナーのみ営業】17:00～22:00（21:30 L.O.）
※ランチ帯は応相談（14名様以上で貸切可）

北海道ふるさと会
限定クーポン

ご飲食代10%割引券

※「北海道ふるさと会」会員様限定クーポンです。※他券・他割引併用不可
※本チケットは「新宿三丁目店」「銀座店」「赤坂店」でのみ、ご利用可能です。

回収印

新幹線の街　我が北斗市

東京北斗会　会長　佐藤金也

新幹線の最終駅である北斗市は、津軽海峡や函館湾に面し肥沃な大地と温暖な気候に恵まれ漁業・農業・商工業を中心に発展してきた人口4万6千人の街である。

待望の北海道新幹線が2016年3月に開業してから2年半経過した。東京駅から最短で4時間2分。新幹線は新たな北海道への交通手段となり、新函館北斗駅は北海道の玄関口として多くのビジネス・観光客に利用されている。平均乗車率は開業の16年度32％、17年度27％とJRの当初目標26％は辛うじて超えましたが、JR北海道は利用客の増大に苦慮されている。

開業当初、駅周辺は牧歌的な景色が広がっていましたが、現在でも同様で最大の懸案事項は新幹線駅前の開発が進まない事だろう。「駅前の呪縛」を如何に解消するか北斗市は土地区画整理事業により、整備が進められ企業立地を促進する助成制度を設けている。

今年5月新幹線で帰省した際に改めてこの駅舎を見て回りましたが素晴らしい。建設にあたっては北斗市側より地元材の活用や周辺の自然景観との調和が要望されたという。天井には地元材である「道南杉」が使用され温もりを感じる、特徴的なデザインに仕上げられている。又駅舎の一部にはレンガがふんだんに使用されている。北斗市は北海道で初めてレンガが製造された地でもあることから北海道産のレンガが使用されている。ちなみに最初に製造されたのは北斗市中心部から木古内方面に向かって7～8㎞にある茂辺地区である。明治初期頃良質の粘土が取れたため、北海道で最初のレンガ製造所が建てられたという。

北斗市にはトラピスト修道院やきじひき高原などの観光地もありますが、新幹線の観光客の大半は隣町の函館へ移動する。観光資源の豊富な函館と比較できないが、今後は「食」「文化芸術」「スポーツ」などの分野で地域の持つあらゆる特性、可能性を充分に生かしながら新しい創造に向かっていくものと思われる。

中標津町の略歴とご紹介

東京中標津会　幹事長　藤井俊文

中標津町は道東の根室振興局に属し、北海道の他の地域と同じように、かつてはアイヌの人々の活動の場で、その名前の意味の標津の「シ」とは、『真の、本当の、大きな』の意味を持ち、「ペッ」とは、『川』のことです。つまり『大きな川』＝『本流』という意味になります。よって、中標津は「〃中〃流域にあるシ・ペッ」となります。

中標津は、その人口増加に伴い昭和12年7月に標津村（現標津町）から分村して、また、昭和25年1月1日に町制を施行し現在に至っております。北海道の命名者「松浦武四郎」が1856・1858年（安政3・5年）の根室から知床までの第4・6回蝦夷地探検に、当地を2回通ったようです。今年、北海道命名150周年記念と、武四郎が162年前にこの集落を尋ねたであろう北海道の東の玄関口中標津の町制施行68週年を共に祝するものです。

中標津町は世界遺産『知床』への玄関口としてだけではなく、地平線3330度の眺望『開陽台』、中標津の奥座敷『養老牛温泉』と、日本唯一のそれらを結ぶ酪農ロングトレイルが楽しめる「北根室ランチウェイ」があります。大規模牧場や、大自然を本当に身近に感じることができます。中標津空港から酪農地帯を歩き、開陽台、養老牛温泉、モアン山、を経て、そして、摩周湖外輪山を抜けてのJR美留和駅までの71・4㎞のロングトレイルです。是非ともチャレンジ有れ！

「わくわくしてます！札幌　そして北海道の明日へ」

東京札幌会　幹事　宮永明子

都市と自然の調和がとれ便利でありながら自然や四季も感じられる札幌で生まれ育った事は私の誇りであり、故郷から朗報が届く度に嬉しく思います。

平成25年札幌市はユネスコ創造都市ネットワークのメディアアーツ分野にアジアで初の都市として加盟しました。「さっぽろ雪まつり」で雪像に映像を映し出すプロジェクションマッピング他、映像や音楽、デジタル技術をイベントやまち創りに活用しています。

そして平成27年には日本新三大夜景に選ばれ、さらに今年1月には街を活性化させた映像作品と地域に贈る「ロケーションジャパン大賞」で札幌市と映画「探偵はBARにいる3」が見事グランプリを受賞！札幌らしい景観が作品に盛り込まれ改めて札幌が注目される事となりました。

また他にも東京札幌会「新春のつどい」に修了生が出演した「パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）」、「札幌国際芸術祭」他音楽・アート・映像・食などの様々なイベントも街の魅力を深めています。特に道内各地から美味が集まる「さっぽろオータムフェスト」は食資源が豊富な他市町村あってこそのイベント。北海道のショーケースの役割を果たす為に食の魅力を発信。道内や国内外の観光客を魅了し「次はあのイベントで食べた味を本場で味わいたい！」と道内各地への交流人口増加のきっかけなっているかもしれません。

新しい事を創造し芸術文化を活かした街の活性化、北海道の発展を視野に入れた取組みを行う札幌市を東京札幌会では全力で応援していきます。そして札幌市に倣い今後も魅力あるイベントを開催したり新しい取り組みにもチャレンジしたいと思います。更に札幌にとどまらず北海道への熱い情熱を持ちながら北海道ふるさと会連合会の皆様と一緒に沢山の〃わくわく〃を創り出していけたらと願っております。

さっぽろ雪まつり「PMF」
プロジェクションマッピング

カラオケ居酒屋 RAKU・RAKU
らくらく

走（はしり）祐介を
応援する会

千代田区飯田橋1-6-8三友ビル1F
営業時間：AM11:30～PM13:30
PM 6:00～AM 2:00
TEL.03-3238-9550
携帯.090-1105-0150

ファイト ぎょうざ専門店

東京網走会・東京女満別会

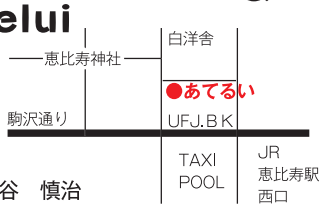
TEL.03-3917-6261
〒170-0002　東京都豊島区巣鴨4-23-6

あてるい

北の山海素材料理と寛ぎの酒
EBISU ATELUI

東京網走会

美味しい旬の北海道あります
Hokkaido Dinning &
Bar Atelui



03-5784-2668
月～土：18：00～24：00（L.O.23：00）
日・祝：17：00～24：00（L.O.23：00）
東京都渋谷区恵比寿西 1-8-10 木村ビル 2F

有限会社アテルイ　代表取締役　根布谷　慎治

オペラ季節館

東京網走会

代表　伊勢谷宣仁（演出・作曲 昭和音楽大学教授）
〒1940021 東京都町田市相模町370-7
TEL042-774-1483 FAX042-774-1482
芸術季節館 新潟県十日町市松之山黒倉 938
nokki@coral.ocn.ne.jp

シェアハウス用の物件
買います・借ります
空きアパート・空家・空テナント

東京女満別会・東京網走会

開発事業部 仕入担当
小　田　島　　司
Tsukasa Odajima

株式会社リンケージ
東京都知事免許（7）第 56678 号

携帯 :090-3877-5419 Fax:03-5721-7173
E-mail odajima.hudousan@gmail.com
Homepage 検索文字⇒リンケージ 祐天寺
Office: 東京都目黒区祐天寺 2-8-13 祐天寺ビル 101 zip153-0052

いつも遠くよりご来店ありがとうございます。

●●●●●●● こだわりの手作り商品 ●●●●●●●
水出しコーヒーバック　ドリップコーヒー
産直お菓子　オリジナルクッキー　コーヒーゼリー
人気作家のコーナーやコーヒーに合う商品をいろいろとご用意いたしております。

健康の事を考え一所懸命焼きました。味の違いが解る手作りコーヒーをどうぞ！

自由が丘のギフトを故郷にお土産はいかがですか？

全国発送いたします　良質のコーヒー豆を自由が丘からお届けします

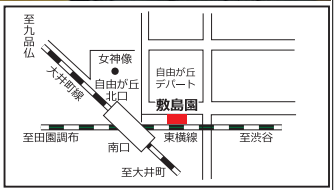
珈琲豆庵 豆 自由が丘
SINCE 2003

TEL.03-5731-5595
FAX.03-5731-5596
営業時間　10:30～19:30　水曜定休
〒152-0035 目黒区自由が丘1-28-8　自由が丘デパート1F
ふるさと連合会広報誌を見たとお伝えくだされば店内商品 10%off いたします

八雲出身

北海道八雲出身で姉妹でお茶の
販売してます。
静岡茶・各産地のお茶を取り
扱っています

お茶とのり
自由が丘
敷島園



〒152-0035 目黒区自由が丘 1-28-8 自由が丘デパート
TEL03-3717-0853（定休日 / 毎週水曜日）

東京女満別会　幹事
東京網走会　幹事
小田島 司　是非お店へのご協力、ご来店をお願いいたします

東京美深会は「創立30年」ふるさと美深町は「開拓120年」

美深会　会長　鳥羽博之

天皇の生前退位が正式に決定し、元号「平成」は6カ月を残すばかりとなりました。

東京美深会も平成元年に発足し創立30年目を迎え節目の年となります。

当時の町長さんと初代会長さんの発足意図は「過疎化・高齢化の進む街の活性化を図るため、田舎の良さをもっと知って頂くと共に、ふるさと美深町の発展を関東からも応援してもらいたい」更には「同郷の仲間の絆を深める場にしたい」と言うことでした。

本会は会報の発行、ふるさと納税支援、ハーブ園支援、ふるさと訪問、札幌美深会・近隣ふるさと会との交流活動等の事業を展開しています。

我がふるさと美深町は「開拓120年」を迎えました。上川地方北部に位置し天塩山地と北見山地に囲まれ、四季がはっきりとした環境にあります。幼い時、誰もが山では山菜や山ぶどう等を取り、スキーを楽しんだものです。河川では泳いだり貝や魚を取り、その場で協力し合い料理して楽しみました。この懐かしい思い出の街も人口は多い時で1万4千人を数えていましたが、現在は5千人を割っています。

このような時だからこそ、微力ではありますが継続した事業の遂行に努めお役に立てればと思っております。

銅（どう）……だべサー　そだネ～　ジャパン!!

東京常呂会　副会長　勢籏加代子

今年2月に開催された平昌冬季オリンピックで話題をさらったひとつが、カーリング女子が銅メダルをとったことです。このチームはLS（ロコ・ソラーレ）北見と言うチームで北見市常呂町出身の常呂っ子がメンバーです。常呂町では、この氷上チェスとも呼ばれる頭脳プレーが勝負を左右するカーリングが30年前から町のスポーツとして広まり、今では5人中1人は、やっているといいます。

忘れもしない平成30年2月24日の夜でした。イギリスとの3位決定戦、最終10エンド。イギリスの最後の一投で動かされた日本の黄色のストーンが、ハウスの中央に止まり……〝勝った！〟銅メダルです。本橋主将も選手に加わり、言葉もないまましばらくみんなと抱き合っていました。司令塔の藤沢選手も「負けたと思った」と振り返るほどの劇的な勝利でした。

感激で涙を流した人は私だけではないと思います。この時の瞬間視聴率は、42・3％（実に780万世帯・1700万人）が同じ感動の中にありました。「彼女たちの満面の笑顔」「純粋素朴な常呂育ちの雰囲気」「そだネ～の肯定的な言葉」そして「車座になってのもぐもぐタイム」が世界中の人たちの心を射止めました。

いろいろ話題を提供した彼女たちですが、郷里の常呂町に凱旋した時の吉田知那美選手のスピーチがまた感動的でした。凱旋報告会で彼女は「この町は何もないよね～小さい頃は、ここにいたら夢はかなわないんじゃないかと思ってました。でも今はこの町じゃなきゃ夢はかなわなかったと思います。」この言葉は、常呂の町だけではなく過疎化の進む地方の町、村の人々、全世界の人々の心を打つ感動的なものでした。勇気を与える物でした。〝小さな町の大きな夢〟ふるさと常呂が日本中に、世界中に知れ渡ったのです。

とても嬉しいオリンピックでした。

東京常呂会も創立40周年

東京常呂会　会長　馬渕照男

今年は私たち東京常呂会もこの11月に、創立40周年の記念総会を迎えます。北海道ふるさと会連合会はじめ各ふるさと会の皆様方の温かいご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

思えば昭和53年10月に、常呂町出身者集いの会を発展的に解消し、東京常呂会の創立総会を開催いたしました。爾来、常呂町が平成の大合併で北見市となった後も、地元出身者の絆は益々深まり今日に至っております。

会員の高齢化は当会も無縁ではありませんが、様々なイベントに取り組んでいます。2月の北見市ふるさと会親睦ボウリング大会は今年22回大会を終えました。この大会の発祥は東京常呂会の親睦ボウリング大会が始まりで、平成18年の市町村合併を機に翌年5月に新たにスタートしたものです。当時は40名の参加者が、今年は93名まで増加し懇親会のみの参加者も含めると120名と大きく育っています。

また、毎年春の平成屯田兵ツアーは第13回、秋のふるさと物産展は第12回を数えます。いずれも親しく交流している東京北見会さんと協力し合いながら開催しており、このような各種活動を通じてふるさとへの変わらぬ思いを大切にしているのです。

また、今年は平昌冬季オリンピックでのLS北見の大活躍がありました。お陰様で常呂町がカーリングの発祥の町として脚光を浴びていますが、私どもふるさと会は、マイナーな時代から北見市ふるさと会カーリング支援推進委員会を立ち上げ協力して参りました。『そだねー』の言葉を聞くと、選手たちの親の顔や、常呂の町が浮かび、感無量の思いで一杯になります。

今年は「北海道ふるさと会連合会創立40周年記念」と「北海道開道150年」の記念すべき年です。

「常呂っ子　カーリング　銅メダル」が花を添えてくれました。

〝銅（どう）だべサー　そだネ～ジャパン〟

北海道ふるさと会連合会の皆様だけのオープン記念特別価格

『私は、人生の最期を迎えた時に、私が植えた美しい
桜の木の下で 安らかに眠り、自然に還りたい』

自宅で保管の御遺骨も可

オープン記念
200名
限定販売

エゾヤマ桜1本（植林工事費込み ネーム・プレート代込み）：216,000円（税込）
35年管理費：300,000円（消費税はかかりません）

特別価格 正会員 516,000円（税込）

今なら
70万円コースが
28%OFF

一般社団法人
摩周桜の森
http://www.m-s-m.or.jp

摩周桜の森
検索

オーナー特典 自然に還る（散骨可）

桜の木のオーナーとなっていただくことで、摩周桜の森の会員様となります。

桜の下には、お名前入りのプレートを設置します。木を中心に直径3mは、ご自身で花を植えるなど自由にご活用いただけます。

▲ネームプレート

植林期間は、契約日から35年ですが、木が枯れるまで認めます。

摩周桜の森 アクセスマップ

▲大浴場（無料）

▲わんわん高原の宿

▲わんわんスポーツの森

オーナー特典 摩周高原の宿

「摩周高原の宿」は、『摩周桜の森』の会員専用の施設です。
雄大な自然のなかにある「摩周高原の宿」にご宿泊いただけます。

会員様価格
【1泊2食付き 5,800円（飲み物別・税別）】
会員様の心と体を癒す最適な場所です。

▲シングル3室 ツイン10室

▲和室9室

▲レストラン

▲カラオケ（無料）

高度成長期の昭和の懐かしい歌を皆様で合唱しながら、当時のふるさとの思い出を語り合い、懐かしんでいただく為の無料のカラオケコーナーもご用意しております。

『摩周桜の森』は、北海道の道東地区の阿寒摩周国立公園と釧路湿原国立公園の中間の位置にあります。

羽田空港～釧路空港の飛行機は、往復1日8便

- 釧路空港から現地まで約50km、車で約1時間
- 女満別空港から現地まで約89km、車で約1時間40分
- 中標津空港から現地まで約73km、約1時間30分

体験宿泊
初回1泊のみ、
会員様価格（お一人様）
5,800円（飲み物別・税別）
是非、この機会に御夫婦やお友達と現地宿泊体験を!!

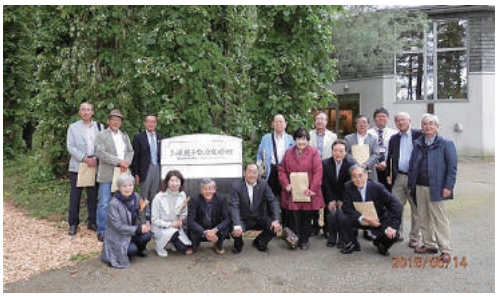
お問い合わせ・お申込み
☎0120-960-551

一般社団法人 摩周桜の森
FAX: 015-488-5888
info@m-s-m.or.jp
〒088-2380 北海道川上郡標茶町字クチョロ原野219番2

摩周高原の宿
TEL: 015-488-5111
FAX: 015-488-5888

第29回故郷訪問の旅

東京旭川会　事務局長　山崎正之



〝故郷の変わらぬ自然と変わりゆく街並み、活気を取り戻す為の懸命な営み〟を体感すべく今年も6月14日、14名で旭川を訪れています。先ず向かったのは三浦綾子記念館、改めて綾子の一生と幅広い作品群の説明を受けた後、『氷点』冒頭に出てくる「ストローブ松の林の影が…」を思い浮かべながら会館を囲む原生林の中を散策しています。

市内の老舗旅館『扇松園』で昼食後、女将に昔の市街地図・写真集を見せてもらい、みんなで〝あった、あった〟と叫びながら、暫し子供の頃の思い出に浸りました。午後は、旧陸軍第七師団官舎で生まれた井上靖の記念館を訪れています。靖のご長女・浦城幾世さんから、膨大な蔵書や文化勲章、来客が絶え間なかった当時の居間の様子などをお聞きし、文豪の住まい、かくあるべしと納得し記念館を後にしています。次に、旭川木工業界をリードする企業を訪問、アジアからの見学者が訪れている中、我々は木工体験に精を出し、作品の出来栄えを自画自賛、満足顔で帰路につきました。

開拓の村から師団の町、買物公園通りで賑わう本道中核都市、人口減少に立ち向かう人々の町へと移り行く中、変わらぬ自然と先人の足跡とに接し、改めて〝故郷のために知恵を出し・汗をかこう〟との思いを強くした一日でした。

オホーツクの風は、オホーツクブルー

東京美幌会　副会長　市川冬兵衛

摩周湖の摩周ブルー、屈斜路湖のコバルトブルー、神の子池の神秘のブルーなどの北海道を代表する独特のブルーがあります。これらのブルーは、空と海からオホーツクの風が運んできます。河も湖も池も山々も丘も森も林も野原も畑も街もブルーに染め上げ、人々までも包み込みます。

新たなオホーツクブルーを見つけに、オホーツク圏に、美幌にいらっしゃい。湖ばかりでなく、あなたのオホーツクブルーを発見することが出来るでしょう。

ブループラネットとは、地球の別名ですが、まさしく地球全体はブルーなのです。その中でもオホーツクブルーは、すばらしいブルーです。

太古の昔からオホーツクの風は、オホーツクブルーをオホーツク地域に、北海道全体に、わが国全体に運んでおりますが、自然だけではありません。人々の願い、希望、思いをのせて未来からも吹いて来ております。自然のオホーツクブルーばかりでなく、ドサンコの暖かさに会いに、オホーツクの街々に、美幌にもいらっしゃい。そうだね！そだね！

心満たされる
穏やかなひとときを

BANQUET
宴会・会議

ACCOMODATION
宿泊

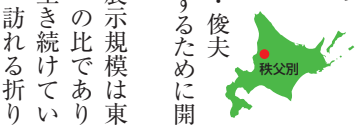
RESTAURANT
レストラン

アルカディア市ヶ谷
私学会館
http://www.arcadia-jp.org

ＪＲ線・地下鉄（有楽町線・新宿線・南北線）市ヶ谷駅 徒歩2分
宴会予約直通ダイヤル 03-6685-0540
宿泊予約直通ダイヤル 03-6685-0541
〒102-0073　東京都千代田区九段北4-2-25

「原爆の図美術館」のあるもう一つの町

東京秩父別会　会長　大　西　倫　利



その舞台は明治28年に開かれた屯田兵の開拓村、今では小さくてもキラリと輝く存在感あるまちづくりに励んでいる秩父別町です。

今日の見渡す限りの美田が広がる秩父別町が築かれ、現在では「日本の米作の地」百選に選ばれる北海道における良質良食味米として評価をいただいているところです。

美田の広がる秩父別町

この地、秩父別町で生まれた反戦画家と知られる丸木俊（旧姓赤松）の生家（善性寺）にある美術館です。現在の善性寺は赤松の姓に因んで赤い屋根の本堂と鐘楼が印象的な立派な寺です。

その善性寺丸木位里・俊美術館には「原爆の図」の大屏風画・その他油絵、水彩画、水墨画などが展示されています。

善性寺丸木位里・俊美術館

原爆の図のある場所の本拠地は埼玉県東松山市の自然に恵まれた都幾川のほとりに「原爆の図の丸木美術館」なのです。

絵の題名がついている美術館は国内外にあまり例がなく、その名の示す通り、画家の丸木位里・俊夫妻が共同制作《原爆の図》を展示するために開いた美術館です。

善性寺丸木位里・俊美術館の展示規模は東松山市の「原爆の図丸木美術館」の比でありませんが「原爆の図」とともに生き続けている場所なのです。秩父別町界隈へ訪れる折りには、善性寺丸木位里・俊美術館を訪ねてみては如何でしょうか。

絵画が呼び起こす想像力は遠く離れた時間と場所をつなぎ、見る人の感情によっていくらでも違って見えます。

それは原爆の図が原爆という人類史上に残る惨禍を通して何時の時代にも通じる「命」の問題を描いているからではないでしょうか……。

原爆の図丸木美術館

原爆の図「幽霊」

≪原爆の図美術館 所在地≫

善性寺丸木位里・俊美術館
〒078-2103　北海道雨竜郡秩父別町３条１丁目
☎ 0164-33-2106

原爆の図丸木美術館
〒355-0076　埼玉県東松山市下唐子 1401
☎ 0493-22-3266

別海町のちょっといい話を紹介！

東京・別海ふるさと会　会長　新　家　鶴　男

一　別海町からオリンピック選手が３人

①札幌バイアスロンに自衛官が出場（駐屯地がある、町から初めて）

②リレハンメル・長野スピードスケート楠瀬　志保選手（リレハンメル入賞）

③平昌スピードスケート（５００ｍと１０００ｍ）郷　亜里沙選手（５００ｍ８位）

二　北方４島在住ロシア人ファミリー受け入れ

毎年のように実施している受け入れは、去る6月16日から18日の３日間、北方4島在住のロシア人訪問団14名が別海町を訪れた。町内の視察やホームビジット、意見交換などで町民との交流・理解を深めた。

ロシアの訪問団（郊楽苑にて）

三　別海町パイロットマラソン10月７日開催

今年で40回目となる本大会は、完走者に「鮭1本」が支給されることで有名。今や道内は勿論、名古屋、大阪、九州からも参加者が来るという。

また、本大会のアドバイザーを務めるのは、浅井えりさん（１９８８年ソウル女子マラソン代表）です。

浅井さんは、現役時代、別海町で合宿をされたことがご縁で毎年アドバイザーを務めていただいているとのこと。

四　「知床」ご当地ナンバー導入が決定

世界遺産「知床」の名称を使用したナンバーの導入が決定した。

オホーツク管内の斜里町、清里町、小清水町の３町、根室管内は羅臼町、標津町、中標津町、別海町がしっかりタッグを組み協議して導入に結び付いたもの。別海町では観光・地域経済活性化のため、地域全体で連携した取り組みを積極的にしたいとしている。

また、「知床」をイメージできるナンバープレートのデザイン案も募集し、デザインナンバーも導入する予定だとか（デザインは公募で決定）。

個人出版・会報などの制作いたします。
お気軽にご相談下さい。

株式会社　双　文　社

〒113-0033　東京都文京区本郷1-10-9
電話：03-3815-0055　FAX：03-3815-0074
HP：http://www.soubnsha.co.jp
NPO法人日本自費出版ネットワーク

余市の透明リンゴ

東京余市会　井内謙輔

明治時代初期に日本にリンゴの栽培を広めたのは、ドイツ系米国人のルイスベーマーです。北海道開拓使に雇われて、リンゴやビール用ホップ、ワイン用ブドウ栽培に注力する一方、洋式温室や造園の設計に目覚ましい活躍をしました。彼は、苗木を米国から輸入、明治8年に、余市、青森、長野等日本全国に配布しました。

余市で、明治12年に「緋の衣」と「国光」を結実しました。現在全世界でリンゴ生産量の3割以上を占める超ブランド「ふじ」の親に当たる「国光」を栽培したのは、ベーマーの直属の教え子でもありました。

ここに、余市町出身者が中心となり「ベーマー会」を旗揚げし、「余市リンゴ」で名をはせたこの地に顕彰碑を建立しました。

余市のシンボルしりぱ山を見晴らす丘に設置したモニュメントは、ステンレス製パイプの曲線でリンゴをイメージした斬新なデザインが特徴です。周辺に広がる果樹園やワイナリーには近年外国人も含めて大変多くの人が訪れています。余市港からの潮風と果物の香りがミックスされた爽やかな風に包まれながらこのモニュメントとともに記念撮影する、そんな観光スポットとして親しまれることを心から願っています。

広尾町150年「つくる、つなぐ。広尾町」

東京広尾会　事務局長　岡田金一

広尾町は、蝦夷地が北海道と改称された明治2年に誕生し、北海道と同じく今年開町150周年を迎えました。町では、長い歴史の中で先人たちが築き上げた伝統と文化を引き継ぎ、豊かな地域社会を「つくり」、広尾町の未来へ「つなぐ」ため、キャッチコピーを『つくる、つなぐ。広尾町』と決め、盛り上がりを見せています。

広尾町は十勝管内の南に位置し、海・山・川・大地に恵まれた自然豊かで、漁業・農業、酪農が盛んな町です。東は太平洋、西は楽古岳・野塚岳をはじめとする日高山脈、その山系に源を持つ河川、広大な農地・牧草地、まさに北海道が凝縮された町です。特にししゃも、秋鮭、毛がに、コンブは町の特産品として全国的に人気があります。また、町内を流れる広尾川、楽古川、野塚川、豊似川は清流として有名で、鮭・ししゃもの産卵、やまめの生息地となっています。

町内には2本の国道（236号、336号）と道道・町道が整備され、黄金道路、直線道路、天に続く道、ジェットコースターの道等があり、絶好のドライブコースとなっています。特に広尾町から浦河に抜ける国道は天馬街道と呼ばれ、日高山脈の中腹を貫く野塚トンネル（全長4232m）、清流、紅葉は見事です。

約100年前までは、柏林の原生林であった広尾の大地を開拓した先人に感謝しながら、スピードの出し過ぎと鹿に気をつけて、是非、広尾町にお出かけください。

大地と日高山脈（楽古岳・野塚岳）

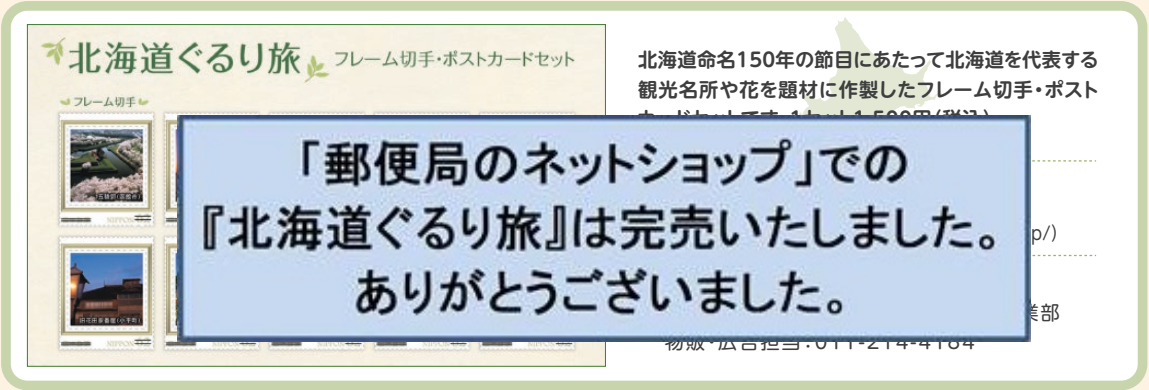
皇居や東京タワー、
国会議事堂、
レインボーブリッジなどが
展望できるフロア。

東海大学校友会館
The Tokai University Club
株式会社 霞ヶ関東海倶楽部
www.tokai35.jp
〒100-6035 東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビル35階
TEL 03-3581-0121(代表) FAX 03-3581-6200

税理士法人　すずらん
代表社員
公認会計士
税　理　士　林　敦
白三会（苫小牧東高）東京支部事務局
〒166-0002
東京都杉並区高円寺北一丁目17番5号
TEL 03-5318-9707　FAX 03-5343-7890
Email : zeirishi-suzuran@pure.ocn.ne.jp

郵便局

日本郵政グループ



みまもり訪問サービス

月額 2,500円(税抜)

毎月1回、郵便局社員などがご利用者宅を訪問。会話を通じて生活状況を確認し、ご家族などに連絡。

高齢で一人暮らしをしている親が心配…

親に会いに行きたいけど、遠くて頻繁には行けない…

父さん、元気かな…母さん、どうしているかな…

このようなご心配の解決を 私たち郵便局がお手伝いします

1 月1回、郵便局社員などがご利用者宅を訪問

訪問は平日9時～17時の間で30分程度

2 会話を通じて10項目の生活状況を確認

・最近の体調はいかがですか
・最近、食事は規則的にとっていますか
・最近、不審な業者からの電話や訪問はありましたか　など

3 ご希望を確認し、写真(1枚)の撮影も可能

4 確認した生活状況をご家族などへご連絡

・ご連絡は最大3ヶ所まで可能
・受け取りはスマートフォン、パソコンなど
※PDFファイルが閲覧できる環境が必要(ガラケーは不可)

ご利用者様の声

●夫を亡くして1年。今年からみまもりサービスを利用し、少し安心しています。郵便局の社員の方とのお話を通じて元気が出ますし、私も頑張れます。【80代 女性】

●近頃は、同年代の方との交流も少なくなっており、毎月のみまもりサービスが待ち遠しいです。【80代 男性】

●息子からの電話が少なく、寂しい日々でしたが、みまもりサービスを利用することで、息子との距離が近くなりました。【70代 女性】

ご家族様の声

●一人暮らしの母親に電話をしたくても仕事を終えた夜遅い時間になってしまい、不審電話を警戒した母親は電話に出ません。普段の生活状況を確認したいので、毎月報告をもらえるのが嬉しいです。【50代 男性】

●一人暮らしの母親の生活状況が心配ですが、頻繁に行き来できません。毎月、郵便局の社員の方が訪問してくれて、その結果をメールで報告いただけるので、有難いです。【50代 男性】

みまもり訪問サービスは、郵便局のHPからインターネットでお申し込み頂けます。

みまもり、つながる。家族のあんしん。
大切なご家族の毎月のみまもりを郵便局がサポート。

申し込みページURL／https://www.jp-lp.jp/ApplyWeb/

お問い合わせ先 日本郵便㈱北海道支社
金融営業部 みまもりサービス担当 011-214-4096

事務局からのお知らせ

30年度これからの活動予定

30年	11月14日㈬	第４回三役会・理事会
30年	11月下旬	代々木産直報告会
30年	12月12日㈬	第５回三役会・理事会
31年	１月９日㈬	第６回三役会・理事会
31年	１月19日㈯	新年交礼会 於：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
31年	２月下旬 ～３月上旬	親睦旅行（日程・場所未定）
31年	３月13日㈬	第７回三役会・理事会
31年	４月10日㈬	第８回三役会・監　査
31年	４月中旬	第８回理事会
31年	４月20日㈯	第42回総会・懇親会 於：喜山倶楽部（教育会館）

連合会事務局の出勤日：毎週　月・水・金曜日の 10 ～ 16 時（適時変更があります）

E-mail：hokkaido-furusatokai@bz04.plala.or.jp　　http://www.hokkaido-furusatoren.com/

編集後記

今年度の広報部会は走りました、40周年記念誌の発行が５月12日、６月には36号の発行に向けた打ち合わせと案内の作成、各ふるさと会への案内と企業様への案内と言うよりお願いの通知、広報部会の皆さんもそれぞれの担当に別れ、手際良くやってくれました。

年１度の連合会会報も１００団体の会員さんに、それなりの普及と浸透して来たのは確かだと思います。各ふるさと会の年１度の総会・懇親会に会報が配布され、益々道産子同士の交流が連合会を通じて広がることを信じてお届けしています、今号への広告のご協賛、各ふるさと会からの寄稿文、皆様のお蔭にて出来ております、感謝申し上げます。（Ｉ）

会報第３６号編集スタッフ

五十嵐邦男（広報部会長　東京あしょろ会）
佐藤　金也（東京北斗会）
秋山　憲一（東京ふるさと新得会）
宮高　　隆（東京登別げんきかい）

応援ふるさと会所属

小田島　司（東京女満別会）
堀川　哲夫（東京白老会）
黒木　　憲（東京あしょろ会）

ストップ！未成年飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。
サッポロビール株式会社
www.sapporobeer.jp